



京阪神地区忘年会（12月7日）

杉
野

石
井

松
田

古
賀
酒
井

堂
本



平成2年東京凌泳会夏季総会（7月20日）



東京凌泳会忘年会（12月7日）



吉岡
 西尾 高倉 井上(優)中山
 守沖 高元 三好 原田 郡 中川 古谷上山 家門 藤本(博)山田 戸井 寛
 飯田 田中 小島 甲野 中塚 井上(聡) 宮下 下坂 一越 城
 植村 北 中畑 富村 安居 青木 藤本(克) 松島 木村 高岡 魚住 村本
 柴田 当麻 金 笠田 東 井上(達) 染谷 吉本

目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

鈴木不羈雄氏の思い出	大15高	木村芳雄	1
日本一長寿ゴルファーを目指して	"	"	2
亡き友を偲んで(2篇)	昭30工	堂本直正	4
トライアスロンを始めませんか	平1理	甲野賢	6
「凌泳七十年史」編集進捗状況	「凌泳七十年史」編集委員会		8
平成2年度 凌泳会総会並びに懇親会			9
" 月見の宴			10
" 初泳ぎ			10
支部便り			
東京凌泳会 夏期総会	昭59法	呉竹正人	12
" 忘年会	昭60管	浦野敏明	12
京阪神地区 忘年会	昭53農	酒井正人	13
会員からのお便り			
凌泳会総会案内状返信より			14
月見の宴案内状返信より			25
マスターズコーナー			
'90日本マスターズ短水路大会			
●兵庫会場 ●東京会場 ●福岡会場			35
'90日本マスターズ短水路10傑入賞者			36
'90ジャパンマスターズ(長水路大会)			37
現役部員寄稿			
「水泳ぐんです」	主将	染谷光裕	38
練習	競泳主任	井上 聡	38
天才	水球主任	一越健治	39
水泳部員の役割	主務	城 一男	39

卒部の辞	平成3年卒部者一同	41
現役部員紹介	2回生一同	48
1990年度活動報告		57
歴代10傑表		78
凌泳会会則		85
凌泳会役員名簿		88
凌泳会会員名簿		89
「商神」「応援歌」		125
編集後記		129



鈴木不羈雄氏の思い出

(大15高) 木村芳雄

今度学長になられた鈴木正裕先生の御尊父が、大正14年卒の水泳部先輩、鈴木不羈雄氏だと「凌霜」310号」に書いてあるが、之を読んだ小山賢之助君から不羈雄氏を知っているのは木村さんくらいだから、何か思い出を「凌泳」に書け、と言ってきた。賢ちゃんという男は、前にも「凌霜」308号で「随想ひろば」のリレーを私に押しつけてきた。私が断ったりする男でないことをチャンと見抜いていて頼んでくるのだから、何とも心にくい後輩ではある。

前置きはさておき、神戸高商に水泳部らしいものが出来たのは大正9年頃と聞くが、私が一緒に泳いだ連中は、榊原零一、山村馨（共に大12年）、鈴木不羈雄、高森安夫（大14年）、三輪嘉一郎、高田寿三（大15年）等であった。これらの方々も今では全員不帰の客となってしまった。その頃は銘々好き勝手に泳いでいたようなもので、規律厳しい部活などもなく、本格的な対抗戦といえば、対大阪高商戦が唯一のものだった。

不羈雄氏の思い出としては、彼の体格が異常に巾広で扁平だったことだ。私も彼と先ず同型と言えが、彼の扁平さにはとても叶わなかった。水泳は前進力と浮力の兼ね合せだが、扁平な体の方が分厚の体より水に浮くのがずっと有利だし、特に長距離にはもってこいである。不羈雄氏も私もそんな体型だったから、何時間でも、何千米泳いでも平気だったので、いつまでもいつまでも水に浸っていた。

彼は誠に温厚な人柄で、つつましい程の物静かで端正な人だった。上述した水泳部の面々は、がらっぱちが多く、特に私などはよく喋り、はしゃぎすぎる方だったので、彼のことをふり返ると、何ともいえず面はゆい思いである。

不羈雄氏の思い出を一言で言ってみれば、誰もが敬愛できる立派な性格の人だった、ということに尽きると思う。

（編集部註） 故 鈴木不羈雄氏（大14高）のお名前について。

従来「凌霜会」名簿に倣い「羈」としておりましたが、過日鈴木学長とお会いする機会あり御父君のお名前確認しましたところ、「羈」が正しい事が判明しました。従って本稿並びに本誌名簿を「羈」に訂正させて頂きましたので御承知願います。

日本一長寿ゴルファーをめざして

(大15高) 木村 芳雄

ゴルフは実に魅力のあるスポーツである。ハンディキャップという制度がうまく出来ていて上手も下手も一緒に楽しめるし、激しい運動ではないから私のような年配になっても若い連中が程よく付き合ってくれる。ボカをやったり思わぬ失敗があると却って親しみを増したりもする。一度一緒にプレーしただけですっかり打解けて、恰かも十年の知己のようになる場合もある。



平成2年8月4日(土)
第22回軽井沢 凌霜懇親ゴルフ会
於 大浅間ゴルフクラブ No.1.T.G.

私のゴルフは昭和5年、日綿の印度ボンベイ支店に勤務した時に始めた。その頃の日本では、若いサラリーマンにとってゴルフは全くの高嶺の花であったが、外国では入会金もプレー費も安く、その上外国駐在の手当がつくから割合気安くゴルフが出来た。

昭和十年に印度ニューデリーで日印綿業会議が開催され、日本実業界の大立者、伊藤忠兵衛氏が日本側の団長として来印されたが、私は日綿から此の会議のお手伝いに出た。その際、忠兵衛氏の知遇を得て伊藤忠へ是非やって来いとスカウトの話になったが、日綿の

方が離してくれない。印度で6年も高い海外費用を出して綿花の買付その他色々仕事をし込み、さあ之から役に立つという時になって、商売敵の伊藤忠にひっこ抜かれてはたまったものではない。あれやこれや紆余曲折の末、やっと半年後に伊藤忠に転籍することが出来た。伊藤忠では私が大阪本社と海外の支店に綿花部を開設することになり、先ず中国の上海、天津、青島に十二年間、続いてメキシコに六年滞在した後、大阪本社に戻ったが、此の任期中に印度に大洪水があり、印度綿が暴騰を演じたが、私はこの相場で大儲けをしたので御褒美として、一年間世界65ヶ国を歴遊させてもらった。私の海外生活は始めて25年になり、又、私が駐在したり、訪れた国の数は100を越える。その間ずっとゴルフは続けているから昭和5年のボンベイ以来今日迄60年間のゴルフ歴を誇る。

日本アマのゴルフ界に日本シニアゴルフェーズ協会というのがある。ハンディ12以内で55歳になると入会出来る。現在の会員数379名、年に3回中京、関東、関西の名門コースで試合があるが、私は

1975年に3回ともを連覇するという、日本シニア初めての偉業を達成した。

又、私は1976年と78年の2回、所属クラブのグランドシニア選手権を獲得した。三連勝をねらったのだが、77年は僅差で敗れた。

私は78歳の時エージシュート達成の誓いをたてた。之に対して親友14人が申合せて「成就しない」と賭けてきたのだから何とも腹立たしい話ではないか。此の年、前半に38を出し乍ら後半は42に終わった。翌年79歳で又38を出したので、今度之を逃せば2度とチャンスは訪れまい、と一打一打に心身を注いだものの、張り切りすぎてか又も42、結局2回ともグロス80で終わり、2打差と1打差で私の願望は空しく潰えた。80歳を過ぎてからは年の数よりストロークの方が倍増する有様で、今ではもうそんな野望はかなぐり捨てて唯々諦観あるのみ。

今となっては私に残された目標はたった1つ、日本一の長寿プレーヤーを目指すことである。今私は87歳、有難いことに私はまだ割合健康だし、会社への往復に1万歩近く歩いている上に、自己流の健康体操を毎日欠かしたことはないから、まだ3・4年はワンラウンドを楽しめるように思う。

私の人生の終点がどの辺りになるかは分からないが、最後の最後まで健康でゴルフを続け乍ら彼岸に到達したい。それが私の切なる願いである。

〔編集部 註〕

昨年本誌で、3世紀を生き抜くと豊饒たる加古川の山野先輩（大10高）、米寿にしてマスターズ水泳に挑戦される九州の溝口先輩（大13高）を紹介したが、今年“日本一長寿ゴルファー”を目指される木村先輩（大15高）を紹介した。御承知の通りハーフ30台は壮年期でもなかなか出せるものではない。それを80歳近くになってクリアーされ、更にエイジシュート迄1ストロークと迫られたとのこと、そのお元気さには全く脱帽の外ない。木村先輩の益々の御健勝をお祈りいたします。



亡き友を偲んで

(昭30工) 堂本直正

(その一) 私の水泳部入部のこと

昭和26年3月、兵庫県立長田高校卒業、同4月、神戸大学工学部機械科合格、入学式は六甲台の本部学舎で4月10日にありました。初めて訪れた六甲台でした。まず始めにプールサイドへ行きました。春爛漫の中に在りましたプールは鉄柵に囲まれ学校側からは入れず、西への下り勾配へ向けて開け放されており、そちらには米駐留軍の住宅街が在りました。プールは接収されていたのです。柵のきわまで近づいたとき、横のウバメガシの木からわらわらとモズの雛が5羽飛び出して行きました。近づいたことが「巢立ち」をうながしたのです。その後きびすを返し、入学式の行なわれる講堂へ向いました。

「来たれ我が水泳部へ！ 入部者をつのる」手書きの看板をお立て、真っ黒な学生さんが入り口に立っておりました。本当に真っ黒でした。あと一人、二人の連れがおられたようですが、あまり印象に残っておりません。現在の「文珍風」にやれば、「兄イちゃん、自衛隊へ入らへんけ」なであります。小生直立不動の姿勢で「私入れて下さい」真っ黒な学生さん、にやりと笑うと手を差し伸べてきて二人は握手をしました。この上級生は、今は亡き中島功(昭28経)その人でした。これが私と神戸大学水泳部との出会いです。尚、翌年に接収解除、返還されてまた我々のものとなり今日に至っております。

(その二) 今井彰兄を悼むこと

新制三回卒の同期生一同 様

平成二年八月二十六日

拜啓

今年は昭和八年以来の猛暑とのこと、処暑も過ぎましたが、あえて残暑お見舞い申し上げます。ご存知のごとく、私も凌泳七十年史の編集委員をやらせていただいております。皆さんからの投稿文の読み合せをしておりますと、私達の同期の今井彰君の名前が出てきます。しきりと彼のことが思い出されます。体格が良く色白で、白系ロシア人のような整った風貌で、気性もさっぱりしていたこと、

京都の言葉遣いの語尾に「ケ」を入れる語り口、例えば「そうやんけ」などなど。「京都市中京区竹屋町新町西入ル 今井健二」がありました、京都の電話帳で見付けました。二十四日に訪れました。健二さんとは、彼の兄の長男、この方のお母さん、つまり今井の兄嫁に当たる方「今井利子さん」と十歳上の今井の姉さん「山田よし恵さん」が出迎えてくれまして、いろいろとお話をうかがってきました。

顕岳彰道居士昭和三十八年七月二十日没。伊藤忠棉花部配属、メキシコへ綿の買い付けの仕事で三年間現地へ出張、首の後にこぶができ、ロサンゼルススの病院へ車で三時間かけて行き精密診断の結果肉腫と判断されて帰国してきた。阪大病院へ入院させたところ血液癌で、あと四カ月の命と云われたそうです。奇跡的に良くなり、三十七年暮れに退院して自宅療養をしていたがまた悪くなり、翌年六月に再入院をして激しい痛みで苦しみながら七月に永眠したそうです。合掌。

当時私は京都支店に勤務しており、京都に住んでおりました。多分石井先輩からだと思えます、電話があり、おまえが一番近くだから後泳会代表でお葬式に行くようにと指示があり駆け付けましたがお葬式の終わった晩だったと記憶します。伊藤忠社長からの弔辞を読ませていただいたことを覚えております。

実は自宅療養中の三十八年五月末位に街中でばったり彼と逢っているのです。私の会社が京都御所の東に有り、そこから南へ丸太町通りへと南下しておりますと、彼が北上してきました。白大島紬に下駄履、色白く普通の体調と見えました。退院後の身体で散歩中とのことでした。私も若くて配慮も無く、まためっぽう忙しい時代だったので自宅へ見舞いにも行かず、訃報が届いた時には随分と反省しました。生きていて話しあえる時になぜ行かなかったのかと悔やみましたことです。

姉さんが古い写真をたくさん用意してくれて見せて貰いました。七十年史の資料にさせていただくべく二十二枚お借りしてきました。同級生諸兄の顔もずいぶん有ります。特に友繁兄の顔が多いです。

仏壇に手を合わせお二人と話をはずませておりますと、三十余年昔に返り当時のことがひしひしと想い出されるひとときでした。教養課程のときに姫路分校に遊びに行き、授業に潜り込み盗講？夜は寮の同室、一つ布団で寝たこと。三年生の夏の今治合宿での彼のロマンス。同年九月に同級生有志での芦屋奥池へのハイキング。ああ！良い奴ほど早く死ぬと云うのは本当のことだなあ。

尚写真をしげしげと見ていて思いついたこと、早死にして損な奴、可哀相な人と云う気持ちが動きますが、利点も有りました。我々のように歳相応の面貌をしていなくて、二十歳代の張りのある顔、若々しい身体、それが私達の記憶に有る彼「今井 彰」の全体像でした。この意味では得な奴。

「ひと山をつつみて夏の虹立てり死なせてならぬ人逝きし日に」代居三郎 昭和万葉集より。今井彰兄のことをお知らせしたく筆をとりました。皆様の益々のご活躍を祈ると共に今井の分も貰って我々は永く健康で行きましょう。

敬 具

付記 今井彰君 昭30法 同年4月伊藤忠入社 38年逝去

トライアスロンを始めませんか？

(平1理) 甲 野 賢

'87年秋に水泳を引退し、一浪して現在の会社へ入社、入社一年目を終えるまで、今にして思えば大学時代の熱かった四年間から比べれば、岩の中で眠っている山椒魚よりも充実していない生活だった。日常生活に埋もれ、毛虫の様に嫌っていたテニスサークル野郎達とも酒を飲む。朝起きて飯食って、仕事して打算的な残業をして、飯食って寝る。何とか脱出しようと思って始めた野球、サッカー、ラグビー、綱引き、いずれも「仕事の余暇」スポーツだった。スポーツなんて、死ぬ程練習して、死んで、上手くなって、勝って、始めて面白いものだと思っていたから、仲間が滑稽なエラーをする「ほのほのと」した笑いが飛び交う野球など続くはずはなかったのに。

'89年秋の月見の宴で、現大阪府立高専水球監督の西氏が、半分酔っばらいながらトライアスロンの感動を話してくれた。こっちも酔っばらっていた関係で大いに感動、よっしゃ、これや。早速自転車をオーダー。初めてみるロードレーサーにワクワクドキドキ。例えて言うなら、子供の頃駄々をこねまくってようやく買ってもらったサンダーバードやキャプテンウルトラなんかのプラモデルを手にした時の興奮か。初めて女と手を繋いだ時の感動か。そんな感じ。その後すぐに、初冬から二カ月間福島県に冬タイヤの販売実習に行き、翌年から本格的に私のトライアスリート生活が始まった。

従ってこの原稿を書いている現在で、ようやく選手生活一年二カ月を終えたばかりのヒョッコ、凌泳会のこの道の先輩である平石氏、金氏、奥村君ら（その他私が知らないだけの方々）を差し置いて、こんな拙文を掲載させて戴き少々心苦しいです。

今では課長も私を見限っている様で（こっちにしてみれば意味無く残業する奴こそ見限るべき）、朝2時間弱練習、昼休みウェイトトレーニング（現役時代の私を知っている方へ、Max.重量はかつての2/3程に落ちました）、課長代理の白い目を背中に退社、御影スイミングスクールに行くか、自



平成2年9月、大分県住吉浜に於ける“トライ国東”大会で力走中の筆者（右側）

宅でゴンゴロゴンゴロ自転車ローラーを回すこと1時間。そして社内に友達が誰もいなくなった。

トライアスロンを続ける、続けて行こうと思うのは、日常生活では絶対に手に入れることの出来ない「充実」と「感動」があるから。充実していなければ生きていく価値が無いと思う。もちろんトライアスリートの中にも完走目的、話のタネ、自分のベストタイム、とにかく他人に勝つ、いろんな人と出会うため等々、皆価値観は異なるけれども、誰もがレース中は美しい苦悶の顔をして、ゴールテープは最高の笑顔で切っている。

人それぞれに価値観があって、そのために精力尽くせば感動があるでしょう。女のために生きる奴、仕事が好きでたまらない彼女、子供の幸せだけを願っているおっさん、積極的に肯定します。

ところで、誰もが熱かったあの水泳部時代ほどには現在充実していないあなた、トライアスロンを始めてみませんか？ 話のタネでも結構、一度だけチャレンジしてみましょう。ゴールテープを切った後、100%次の試合のことを考えていることでしょう。

トライアスロンには素質が必要です。とはいえ、ST繊維優位の筋組成であるとか、最大酸素摂取量がどうだとか（もちろん「優勝」するためにはその手の素質が必要でしょうが）いうものではありません。現に心身共にスプリンターの典型であった私でも、土台が遅いとはいえ少しずつですがタイムアップしています。もっと必要な私の考える素質は次の四点。

1. 個人競技を、他人の力を借りずに勝つことを、愛する。
2. けれども多勢でいるのも好き。下町が好き、という感じか。
3. とにかく祭り好き、主人公願望のある目立ちたがり。
4. すこしナルシスト（但し鏡の中の自分の裸体が好きな類は、ただの危ない奴）。

まだまだ歴史の浅いスポーツだけに、過保護であったり（例えばマラソン等ではほとんど不必要な「医師の診断書」「負荷心電図」「家族代表署名」なんかが必要）ことや、根源的にはレース中死ねばそいつの本望である筈なのに、他の競技では絶対に見られない「ライフセーバー」がスイム中つきまとう）、ルールもええ加減（バイクで風を避けるために他人の影にはいることは禁じられていて、放送車がいれば選手の方が避けなければならない事態さえある。なのにスイムでは堂々と他人の流れにのれる）ではあるけれども、レースの度に日本全国老若男女の友達ができ、地元のボランティアの温かさにふれ、レース後は各地の穴場で遊び、自分の限界をまた一つ越えたことに感動し……。

誰でもできるとはいえ、何もせずには走れません。最低二カ月練習が必要でしょう。練習方法は、水泳競技出身なら思考錯誤でなんとでもなるでしょう（他競技出身者は、信じられない程トレーニング方法や運動生理学等について無関心で無知ですよ！）。年齢・性別・体質不問。是非チャレンジすることをお勧めします。ただ一つ難点、金がかかる。

現在競技を（いかなる次元であれ）続けておられる方、いっぺんやってみたらかという方、是非御連絡

下さい。情報交換（兵庫県トライアスロン協会役員に私はコネがありますよ！）、練習、エキデンへの参加等々。チーム凌泳なんていかがですか？

再度申します、トライアスロンを始めませんか？ 御連絡お待ちしております。

「凌泳七十年史」編集進捗状況

「凌泳七十年史」編集委員会

一昨年来準備を進めております「凌泳七十年史」の編集は、皆様方のご協力を得て多数の原稿並びに珍しい写真等をお寄せいただき、着々と進んでおります。又、六甲台図書館、或は凌霜会本部より創部当時の貴重な文献、或は写真等が発見され、きっと皆様に興味を持ってお読み頂けるものが出来上がることに、編集委員一同張り切って取り組んでおります。

ただ、残念ながら素人編集委員の悲しさ、思い掛けぬ誤算、手違い等で作業が遅れがちとなり、当初予定の平成3年7月発刊予定が若干遅れるのではないかと懸念しております。何とか秋の深まらぬ内にお手元に届けたいと頑張っておりますので楽しみにお待ちしております。



平成2年度 凌泳会総会並びに懇親会

〔総会〕

日 時 平成2年5月19日(土) 午後2時より

場 所 六甲台 教官食堂

出席者

小山賢之助(昭7) 吉野 栄(昭15) 三宅 林(昭21) 富岡 道雄(昭31)

岡田 重義(昭37) 丸山 昱也(昭40) 酒井 正人(昭53) 山本 隆(昭57)

川原田 貢(昭61) 守沖 敦(平1)

現役水泳部員一同

今年も遠路はるばる会長のご出席を頂き、例年の通り総会を開催しました。当初20日の日曜日を予定していたところ、この日に競技が入ることになり急遽19日に変更した為かO Bの出席が少なく、やや淋しい総会となりました。

まず会長の御挨拶があり、引き続き議事に入りました。

議 事

I 凌泳会

- イ. 平成元年度経過報告並びに会計報告
- ロ. 平成2年度行事予定並びに予算審議
- ハ. 凌泳会役員改選

II 水泳部

- イ. 平成元年度活動報告並びに会計報告
- ロ. 平成2年度活動予定並びに予算報告
- ハ. 新年度役員紹介並びに部員自己紹介

4時頃終了

〔懇親会〕

三の宮駅前KUCに席を移し、5時半頃より懇親会を開催しました。総会に出席出来なかったO Bの参加もあり、楽しい一時を過ごし9時過ぎ閉会しました。

月 見 の 宴

六甲台プールに灰色の雨雲が暗く覆いかぶさっていた。昨日の大雨をもたらした雨雲が今日も残っているのだ。雨はバラバラとしか降ってはいなかったが、今にもバケツをこぼしたような雨が降ってきて不思議はなかった。ついこの前まで繁った木々の間から差し込んでいた夏の日差しは、まるで嘘のようである。水も冷たい。

そんな中、競泳の記録会、水泳のOB・現役対抗戦と行われ、OBの方々の陽気で元気はつらつとしたプレーを見て、現役部員の一人として私はとても気持ちよかった。そして、月見の宴の名のとおり、プールサイドコンパが暗くなりつつある六甲の空の下で、いつもどおりに始まった。いつもどおりにおでんを食べ、ビールを飲み、いつもどおりにOBの方々のお言葉、一回生の自己紹介があった。すべてがいつもどおりであった。しかし、プールサイドコンパの幕を閉じるはずの落とし合いが（一部では行われていたが）なく、あっけなく終わった。

誰もいなくなった真暗なプール、寒いほどの空気が、長かった水泳のシーズンの終わりを告げていた。

(富村記)

出 席 者

田中 克己(特)	古賀 克己(昭11)	吉野 栄(昭15)	石井 善章(昭27)
萩原 武(昭37)	岡田 重義(昭37)	丸山 昱也(昭40)	酒井 正人(昭53)
藤田 弥門(昭57)	金 一波(昭59)	吉岡 宏之(昭59)	山野 和則(昭59)
小島 みか(昭61)	中川 善雄(昭62)	浜田 昌己(昭62)	原田久富美(昭62)
井口 恵理(昭63)	加地 恵(昭63)	中塚 泰弘(昭63)	甲野 賢(平1)
郡 幸雄(平1)	黒田 茂(平1)	村上 美和(平1)	岡崎 憲之(平2)
田中 和彦(平2)	枝澤百合子(平3)		

初 泳 ぎ

年も明けて間もない正月7日、平成2年の初泳ぎが行われた。場所は例年通り〔兵庫県立健康センター〕である。丁度その頃、筑波で行われていた水球の合宿に参加している者があったり、当日病気のために欠席した者があったりしたため、今年はやや現役部員の数が少なかったように思える。とも

かくも、OBの方々と一緒に、およそ1時間半ほど泳いだ。正月をはさんでいた事もあって、泳いだのは実に久しぶりであった。正月ボケで少々たるんでいた私は、心も体も引き締まるような思いがした。

その後、会議室に場所を変えて会合が開かれた。OBの方々のお話や励ましの言葉、現役部員の抱負の発表など、新しい年の幕明けにふさわしい会であった。 (藤本博記)

出席者

石井 義章 (昭27)	萩原 武 (昭37)	酒井 正人 (昭53)	原田久富美 (昭62)
甲野 賢 (平1)	羽瀬 智文 (平2)	井上 達晃 (平3)	柴田 英之 (平3)
当麻 尚正 (平3)	中川 篤俊	東 圭紀 (平3)	



[支部だより]

東京凌泳会 夏季総会

(昭59法) 呉 竹 正 人

平成2年7月20日 於：東京凌霜クラブ

出席者

木村 芳雄 (大15)	小山賢之助 (昭7)	草野 嘉一 (昭7)	宮本 伯夫 (昭9)
山口 宗樹 (昭16)	平井 洋 (昭16)	石井 喬 (昭21)	関山 道雄 (昭28)
小原 祥男 (昭29)	田淵 五郎 (昭30)	村田 邦夫 (昭30)	山田 貴彦 (昭37)
竹元 忠彬 (昭37)	鈴木 剛弘 (昭38)	林 荘八郎 (昭38)	武政 英幸 (昭39)
鈴木 正弥 (昭39)	阿部 洋三 (昭42)	井上与志男 (昭47)	佐敷 定雄 (昭49)
近藤 直明 (昭63)	村田 功 (平2)	幹事=呉竹正人 (昭59)、浦野敏明 (昭60)	

以上24名

新人の村田君(平2)を迎え盛大に行なわれました。マスターズの戦果を中心に、とにかく若さあふれるお話ばかりで、司会まで踏み倒して頂き、楽しい限りでした。木村先輩から自社製のハンカチが配られ、小山会長からウィスキーを頂きました。また、2日後の三商大戦への御寄付を木村、小山宮本、小原、山田先輩から、林先輩からはウィスキーを頂き、現役に届けられました。

東京凌泳会 忘年会

(昭60営) 浦 野 敏 明

平成2年12月7日 於：東京凌霜クラブ

出席者

木村 芳雄 (大15)	小山賢之助 (昭7)	草野 嘉一 (昭7)	山口 宗樹 (昭16)
佐脇 鷹平 (昭25)	小原 祥男 (昭29)	田淵 五郎 (昭30)	友繁 忠男 (昭30)
榊原 修造 (昭33)	山本 哲弘 (昭34)	竹元 忠彬 (昭37)	荒井 康之 (昭38)
鈴木 剛弘 (昭38)	鈴木 正弥 (昭39)	滝沢 章三 (昭39)	前田 和秀 (昭40)
玉置 明 (昭45)	井上 史朗 (昭45)	井上与志男 (昭47)	久保田勝己 (昭59)
近藤 直明 (昭63)	幹事=浦野 敏明 (昭60)		以上22名

今年の忘年会には、年末のお忙しい中を総勢22名の方に御参加頂き、賑やか、かつ和気藹々で行なわれました。近況報告、水泳談義、ゴルフ談義と進み、第2回ゴルフ・コンペをやろうということになりました。

また今回は、佐脇鷹平（昭25）先輩にも御出席頂きました。また、久保田勝己（昭59）先輩が平成3年1月よりアメリカ・シカゴへ転勤されると報告がありました。（平成3年6月に御結婚されることを追記致します）。

最後に、最近、若手OBの出席が少ないようです。始まるの時間が早くて大変でしょうが、是非、途中からでも御参加下さいますようお願い致します。

京阪神地区 忘年会

（昭53農） 酒 井 正 人

恒例の忘年会が、今年も12月7日に大阪の「しゃらくてい」という料理屋で開かれた。私も3年ぶりであって期待に胸を踊らせながら馳参んじたのであるが、どうしたことかたった6名の寂しい会となってしまった。

それでも同じカップ同士、打ち解けて話はずむのに時間はかからない。宴たけなわの頃、酒の勢いもあって来年の幹事を引き受けるはめになったが、次回は老いも若きも総出で、大いにカップ人生を語り明かしたいと思っている。

当日の出席者

古賀 克己（昭11） 石井 義章（昭27） 堂本 直正（昭30） 松田 司朗（昭32）
酒井 正人（昭53） 杉野 誓（昭58）



会員からのお便り

凌泳総会案内状返信より



犬童一男（特）

当日は生憎京産大での日本選学学会に出席することになっておりますゆえ出席できません。会場使用の件で何かあるかもしれませんが、主務の方は近くご連絡下さい。

岸 楢 夫（特）

凌泳会の御発展、現役の御活躍と共に総会の御盛會を祈ります。

川北正喜（大13高）

最近、視力だけが老化しておりますが、元気でおります。

植木實就（昭6高）

御案内有難うございました。両三年来体調をくずし静養中のため、乍残念失礼致します。総会及び懇親会の盛會を御祈り致しますと共に現役部員の本年度の活躍、及びOB会員の御健勝を御祈り致します。

香山孝一（昭6高）

昨年から本年初にかけて約5カ月間入院、現在療養中、大変元気になりました。皆さんに宜敷く。

草野嘉一（昭7学）

4/21～5/2、家内とAustraliaへ行って来ました。一昨年も行きましたがSydneyだけでした。今回はMelbourne, Gold Coastにも行きました。Gold Coastの海岸は水泳天国であること、昔と変わりません。

宮本伯夫（昭9学）

凌泳会の益々の御発展を遥かにお祈りして居ります。千葉に落ち着いて仕舞って皆様にお会いする機会も少なくなりました。80歳を越えた現在、静かに余生を送っている今日この頃です。55年昔、上筒井のプールで練習していた時代がなつかしいですネ。あの楽しい元気な時代が夢の様です。現役諸君、悔いのない楽しい思い出を沢山作って卒業して下さい。

池谷俊一（昭10学）

歩行困難の為出席できません。御出席の各位によろしく。本年度の水泳部の御活躍を祈ります。

本 間 孝之助 (昭10学)

前略、毎年11月より翌年4月迄避寒養生の為、神戸市西区富士見ヶ丘1-13-9寓居に居ります。又の機会に是非出席させて頂きたいと思っております。小山先輩始め皆様には宜しくお伝え下さい。

小 池 三 郎 (昭11学)

ご案内状ありがとうございました。相変わらず元気しております。ご盛會を祈る。

古 賀 克 己 (昭11学)

元気で会社勤めを続けております。近来、幹事さんのお勧めで、週2回ていどの泳を始めました。マスターズ競泳にも出場させてもらいまして感謝しています。

伊 藤 英 二 (昭13学)

体重が少し減って45kg以下ですが、幸い病気はありません。ホームコースが来年末消滅するので、目下ゴルフに専念して居ります。年間72回を目途に。寒がりやのため、真夏しか水に入れないのが情けない。5月18~20日、家内と旅行しますので又々総會を欠席します。

太 田 正 元 (昭13学)

御蔭様、水泳のおかげで元気です。

大 内 義 仁 (昭14学)

盛會をお祈りします。

平 井 洋 (昭16学)

〓雲啖べて 大鯉のはり 力見す〓 洋城

碁と俳句三昧の毎日です。

前 田 寿 (昭16学)

〓頭頂に水を溜めたや老河童〓

山 口 宗 樹 (昭16学)

70歳過ぎの年金生活ですが、結構多忙の毎日を通して居ります。まあ健康だと云うことでしょうか。現役の皆様、今の水泳生活が一生の宝物になります。頑張ってください。

岡 本 忠 男 (昭17学)

5月19、20日は総會が(門司にて)あります。会長のため欠席できませんので、凌泳会の総會には残念ながら出席できません。総會、懇親会の盛會をお祈りします。

富 中 暁 (昭18学)

相変わらずヘルスクラブの水泳とサウナに励み、毎晩のアルコールを美味しくする様に努力しています。皆様の御健康と御発展を祈り上げます。

荻野茂希（昭18学）

夏が近づくと六甲台で泳いだプールのことや、仲間たちの姿が思い出される。昨今の出来事はよく忘れるのに、50年前のことが鮮明に残っているのは、何故だろう。当時の美少年たちも既に70歳前後、何時死んでもおかしくない年齢だが、お互いに健康で余生を愉しくやっていきたいものです。

石川七郎（昭19学）

脳梗塞の後遺症で療養中。

井上清（昭19学）

勝手続きで相済みません。この時期、立夏・快晴となると、講義の合間に上のプールに飛込んだのも近づいたな、と一人で懐かしんで居ます。此の年齢になって根気も元気も若い時の水泳で鍛へたお蔭と感じ入っています。孫坊主には水泳部を奨めることです。御来会の皆様に宜敷く。

君塚英男（昭19学）

体調をくずして居り、水泳も出来ぬ有様です。

山内利男（昭20学）

相不変らず、四半期毎のインド出張を続けて居ます。一年がかりでインド経済の自由化（インドのペレストロイカ）に関する報告書を仕上げた処です。次のテーマも1～2年がかりで纏めて行く予定です。

石井喬（昭21学）

4年前に肺癌のため入院、左肺を切除しましたが、その後数回入院、抗癌剤、点滴等にて、毎日元気に通勤しております。東京での凌泳会会合には是非出席し、昔の仲間と再会したいと考えております。

佐脇鷹平（昭25学）

拜啓 皆々様御元気で各界ご活躍の由、大慶に存じます。欠席続きで、今年こそ、と思いは強いのですが、宮仕えの身、まだママなりません。こんなことではいかんのではないかと自問している次第。土曜日にも仕事しているようですが、メッタにないこと、平にご容赦の程願います。

石井義章（昭27学）

昨年に引続き、又々転居しました。今度は敏馬の浜の埋立小島「六甲アイランド」です。5月19日の総会は、全国寮歌祭とぶつかり、世話役をしているものですから抜ける事が出来ず欠席します。夜の懇親会は出席出来ると思います。

岡 沢 幹 夫 (昭29工)

連休中家を留守にしまして、返事が遅れて申し訳ありません。

小 原 祥 男 (昭29営)

残念ですが欠席します。皆様によろしくとお伝え下さい。

田 淵 五 郎 (昭30営)

今年も現役各位の奮泳を祈っています。私も回数だけは、現役の皆さんの半分くらいは泳いでいます。

堂 本 直 正 (昭30工)

会社関連の行事がありますので、勝手ながら欠席させていただきます。盛会を祈ります。

溝 口 汪 (昭30営)

相変らず元気で居ります。そのうち機会を作り出席出来るようにいたします。

富 岡 道 雄 (昭31営)

いつも何かとお世話になっております。昨年も一度も試合にいけず残念に思っております。凌氷70年史編集世話人の皆様には、ご苦勞をおかけしております。原稿が遅れまして申し訳ありませんでした。

前 田 宗 雄 (昭32工)

今年は教室主任の当番にて、現在は求人の来客の最盛期で大変です。尚、懇親会は、当日32年卒の同窓会がポートピアホテルでありますので、欠席致します。皆様によろしくお伝え下さい。

松 田 司 朗 (昭32法)

今年二月、徳島 マスターズ100mフリー、50mバタフライ、各々2位でした。毎年僅かづつタイムはおちております(当り前)。7月・東京マスターズ、8月・リオマスターズ共出場の予定です。他の方も是非御参加下さい。

細 田 忠 雄 (昭30経)

マスターズへの参加を東京支部の皆様から誘われていますが、仲々自信わかず、現在迄は不参加。目下近所のスポーツクラブで100m個人メドレーに挑戦中。得意なフリーに到着する迄に息が切れて残念の毎回。昨日は1分47秒、せめて30秒を切りたいが。皆様に宜敷く。

高 橋 靖 周 (昭33経)

毎回ご案内を頂きながら出席できず、誠に申し訳ありません。皆様によろしくお伝え下さい。凌氷会のますますのご発展と、今回の総会・会員懇親会のご盛会を心からお祈り申し上げます。

栄川 泰介 (昭34経)

当日ボルネオ方面へ出張しますので、勝手させて戴きます。諸先輩に宜敷く。

河村 雍彦 (昭34法)

単身赴任で東京へ行っております。悪しからず御了承下さい。

酒井 孝栄 (昭36経)

札幌から大阪・自宅に戻って参りました。15年振りに帰宅、ということに相成って居ります。時折顔を出せる様になりました。よろしく。尚、住所変更方お願い致します。

野田 浩志 (昭36営)

返事が遅くなりました。懇親会でお目にかかれることを楽しみにしております。

浅間 啓介 (昭37経)

前略 所用の為出席できず残念です。今年は3回、のべ3kmのみの水泳です。年末に新野先生のお話を聞く機会があり、井上君と一緒に拝聴しました。皆様によりよくお伝え下さいませ。敬具

井上 隆史 (昭37営)

ご無沙汰しております。当日は所用のため欠席させて頂きます。昨夜、武政兄からマスターズの案内を貰ったところで、少し泳ぎも遠のいている近況を思っているところです。連休で身体が鈍っているので少し鍛えねば、というところです。皆様によりよく。

柳本 正雄 (昭37営)

御盛会であります様に祈念いたしております。

竹元 忠彬 (昭37営)

残念乍ら欠席致します。小生遥か中東地域での原油開発業務に取り組んでいます。為替リスク、原油価格金利、それに原油開発自身のリスク、なかなか光明が見えて来ません。

高岡 保宏 (昭37教)

ご案内ありがとうございました。小生、この度の異動で再度下記に勤務しています。よろしくお願ひします。

姫路市教育委員会指導第2課

〒670 姫路市安田4-1 tel (0792) 21-2775

萩原 武 (昭37工)

2月に10年ぶりに関西に帰って参りました。これからは、また皆様にもお目に掛かれる機会も増えると楽しみにしております。

米田 啓祐 (昭37教)

ごぶさたばかりしております。四月より兵庫県生野町立生野小学校長を命ぜられております。但馬の南端で姫路には近くなりました。また六甲台プールにもおじゃましてみたいと思っています。

鈴木 剛弘 (昭38営)

当方、この3月に息子と娘が大学と短大をそれぞれ卒業し就職しました。これからは少しは楽ができそうです。皆さんによろしく。

林 荘八郎 (昭38経)

卒業後すっかり東京人になり切っております。そのせいか、関西勤務の縁もなく、ご無沙汰続きになっています。ご盛会をお祈りします。

丸山 卓也 (昭38工)

先日は前田先生へ原稿お送りしました。遅くなってすみません。諸先輩の皆様によろしくお伝え下さい。

鈴木 正弥 (昭39経)

最近専らゴルフに執心しておりますが、腕前の方は相変わらず低迷して困っています。昨秋に続き、第2回関東凌泳会ゴルフ・コンペでも企画し、それを目標に精進したい、とも考えております。(小山会長の青梅G.C.でSept 3(月)に開催されることで決定しました。以上

武政 英幸 (昭39営)

このところ関東在住のため欠席です。水泳は続けています。

堤 荘祐 (昭39教)

世間はG.W.とか。小生、遠い世界にいる感じで、日曜・祝祭日出務の毎日を送っています。両会の盛会を祈っております。出席の皆様方によろしくお伝え下さい。

前田 和秀 (昭40法)

今年は春から体調悪く、泳いでいません。酒をストップして、今までいかにたくさん飲んでいたか判りました。御出席の皆様によろしく。

中畑 勝明 (昭41営)

4月付で大阪本社勤務となり、9年振りに大阪に帰ることになりました。総会出張の予定があり欠席させていただきます。

真喜志 好一 (昭41工)

白保の海を守る(埋立による空港を作らせない)運動に関わるようになって5年目になりました。サンゴと魚たちが竜宮城のように美しい海を守りぬける日が目の前に来ています。

阿部 洋三 (昭42工)

胃の手術後約7ヶ月が経過し、体力的には手術前の6割ぐらいまで戻って来た感じです。水泳の方は週1~2回のペースでやっていますが、100mを全力で泳ぐまでには回復していません。やはり2~3年ぐらいは無理は出来ない感じです。

宮部 高博 (昭42文)

元気にやっています。凌泳会のTシャツの売れ行きはいかがですか? 5/13にマスターズ短水路大会に出場して来ました。凌泳の仲間に会って、気分すっきりと言った処です。現役諸兄の今シーズンのご活躍を期待しています。70周年誌の編集諸兄によろしく。

井上 史朗 (昭45営)

東京に来て早9年、一番長くなりました。仕事は現在ホテル廻りです。ホテルバーでジャズを聞きながらウイスキーのグラスをかたむけています。又、レストランでワインを飲みながら語り合っています。都会の夜は静かにふけて行きます。

岩切 博 (昭46理)

相変わらずマスターズに出ています。不健康な生活が祟って体力は衰える一方です。5月3、4日は長距離大会に出場しましたが、400個メで7分を切るのがやっとでした。

井上 与志男 (昭47法)

東京での凌泳会や忘年会に出席して、先輩、同輩、後輩の方々と楽しい一時を過しております。最近はずます水から離れてしまい、脂肪の付きすぎを自覚しつつも運動不足をなかなか解消出来ない今日この頃です。

P/S 凌泳の原稿、とうとう書かなくて申し訳ありません。次回は必ず必ず書かして頂きたいと思っております。

佐敷 定雄 (昭49農)

週に2回泳いでおります。先般スイミングの試合で100自に1分02秒60の記録が出ました。50自は27秒80でした。たいして泳いでないのにびっくりしました。泳ぐのが好きになれば、何かよいことがありますね。現役諸君の今年の活躍を祈ります。出席の皆様によろしくお伝え下さい。

家本 博一 (昭50経)

いつも欠席ばかりで申し訳ございません。同期の会員とお会いできる日を楽しみにいたしております。

瓜生 誠二郎 (昭50経)

今年度も水泳部のご活躍を祈念致します。

藤 森 一 男 (昭51工)

4月1日付で勤務先が変りました。

〒654 神戸市須磨区行平町3丁目1-27

県立公害研究所 第3研究部 TEL 078-735-6911

長谷川 美智子 (昭52教)

転居しました。

酒 井 正 人 (昭53農)

上海日本人学校から今年3月に帰ってまいりました。3年ぶりの神戸ですので部員の顔もあまり知りませんが、懐かしい母校ですので、神戸にいる限り、時々顔を出したいと思います。

平 石 康 (昭53教)

学校、変わりました。香寺町立香呂小学校です。へき地小規模校から大規模校へ、面くらっています。でも元気でやっています。野球、はじめました。もちろんトライアスロンも。ご盛会を祈ります。

木 下 修 一 (昭53教)

倉敷に居付いてしまい、このところほとんど神戸へ行く機会・時間がありません。選手、マネージャーの皆さんの健闘を、ことしも楽しみにしています。

大 野 智 恵 (昭54教)

長男はやっと2歳になり、ずいぶん楽になりました。仕事と家庭の両立、なかなか難しいです。でも、今のところは何とかやっています。皆様の御活躍をお祈り致しております。

大 林 良 和 (昭55医)

住所変更になりました。

〒675-13 小野市片山町1034-62

慈 幸 弘 樹 (昭57教)

4月より勤務先が下記になりました。

御坊市薬166-2 国保日高総合病院 第二内科

住所も同じです。和歌山市より車で1時間南下した所です。レンゲ畑の中をジョギングしようと思っています。

上 田 剛 弘 (昭56営)

G.W. もオリックス vs 日本ハム3連戦を当地グリーンスタジアム神戸で開催し、大型連休ならず超過密スケジュールに追われております。一体、いつになったら仕事を追うようになるやら。今シーズンも8月にプロ野球5試合をひかえ、応援に行けそうにありませんが、奮

闘を期待しております。がんばって下さい。

芝 暢 彦 (昭56経)

今年4月から2年間の予定でJETRO(日本貿易振興会)へ出向しております。久方振りの都会での生活を楽しんでいます。

亀 井 尚 之 (第57工)

住所らんと氏名らんを、もう少し離して下さい。

白 子 靖 則 (昭57営)

今シーズンの御健闘をお祈り致します。

金 一 波 (昭59経Ⅱ)

・残念ながら5月8日～19日までアメリカへ行ってます。19日に帰国予定ですので、懇親会にはなんとか間にあいたいと思っています。

・先日、神大学長の新野先生とお話した所、温水プールの件、真剣に考えてくれるそうです。OB団結してがんばりましょう。

・若手OB、しっかり泳会行事に参加しましょう！

太 田 雅 彦 (昭58農)

今年こそ関ボロ、優勝して下さい。

酒 井 康 司 (昭58工)

住所が変わりました。妻共々忙しく出席できませんが、別の機会に泳ぎに行きたく思います。そのときには宜しく。

山 野 和 則 (昭59農)

当日は友人の結婚披露パーティーのため出席できません。本年は年初から多忙(怠慢?)のため、ろくに水泳の練習はできていません。マスターズ短水路大会もパスしてしまいましたが、7月の大会には、なんとか日程・体力、両方都合をつけたいものです。結婚してブタになりました。

谷 水 利 行 (昭59法)

現役の皆さん、鳥由、かっば、六甲を呉々もよろしく！

久保田 勝 己 (昭59経)

相変わらず仕事に追われている毎日です。ご出席の先輩諸兄に宜しくお伝え下さい。7月のジャパン・マスターズには出席する予定です。現役の皆さまの御活躍を期待しています。

新部署 三井信託銀行 資金為替部 為替室

呉 竹 正 人 (昭59法)

骨折後の初レースに、びくびくしています。

坂 田 純 孝 (昭60法)

昨年、奈良の竜田川に転居し、仕事は、今年1月より大和銀行に研修に行っています(6月まで)。今回は、大阪銀行水泳部の活動があり、出席できません。

楠 戸 祐 子 (昭60準)

元気です。結婚後全然太れないので、子供と一緒に水泳教室でも通おうかと思っています。

池 辺 正 雄 (昭61経Ⅱ)

毎年欠席ばかりで申しわけない。今年2月に結婚してしまいました。学生時代良く遊びましたが、今は……!! 住所が変わっているので、返事をおくれてすみません。

和 泉 千 里 (昭62農)

3月3日に結婚して、今はのんびりと主婦しています。こんな生活を送っていると「ボケ」がひどくなりそうです。こわい!! 現役の皆さん、試合にはあまり顔を出せないとと思いますが、がんばって下さいね。

中 川 善 雄 (昭62工)

エアロビクス熱が高じて、ついに全国大会出場という羽目になりました。がんばれば何とかなるものです。現役の皆さんの健闘を祈ります。

井 口 恵 理 (昭63工)

前勤務先を3月31日付で退職し、4月より設計事務所に勤務致しております。120人の営業所から社員5人(!)の事務所へ移り、のんびり、ワイワイと楽しく仕事しております。

近 藤 直 明 (昭63営)

この冬はゲレンデに10回足を運び、思う存分滑りました。お蔭様で借金がふくれあがる一方です。

※勤務先部課名と自宅Telが変更になりました。名簿のAmendをお願いします。

勤務先：日商岩井㈱ 建設資材部 窯業建材課 03-588-3155

自 宅：044-855-7434 (直)

川 上 景 子 (平 元 教)

今年はピカピカの一年生担任となりました。小さな子供たちと一緒に過ごしているせいか否か、相変わらず幼く見られている私です。激しいトレーニング生活とは遠く離れてしまいましたが、くたくたになりながらも練習に没頭していた頃がつかしい。あんな疲労感をもう一度……。

黒田 茂 (平元農)

勤務先 千673 神戸市西区伊川谷町潤和824-1

雪印乳業㈱ 神戸工場 市乳製造一課 殺菌係 078-912-2121

甲野 賢 (平元理)

昨年は入社一年目の為、実習で全国各地を飛び回り、試合はおろか六甲台にも殆ど足を運ばませんでした。すまん、すまん。先日新歓によばれましたが知らん顔が多く、心なしか逞しさが足りない気がしました。今年は8月19日に玄海灘で、9月9日に渥美の伊良湖でトライアスロンに出場します(抽選にもれなければ。4月の試合は落選しました。クソボケ)。あと、秋に金さんと奥村をひきこんでトライアスロンEKIDEN出場をもくろんでいます。毎朝練習が辛い。可愛い女の声援が欲しい。熟女も捨て難いな、ウン。

後呂 忠 詳 (平元経)

相変わらず元気にやっております。またインカレの時にお会いしましょう。

岡崎 憲之 (平2教)

今春から神戸市立真陽小学校の教員となりました。4年生を担当しています。クラスで一番背が高いということが何よりの救いです。神大水泳部の今後の活躍に期待しています。





月見の宴



木村 芳雄 (大15高)

最近仲々元気です。こゝ3・4年はかぜもひかず、毎日曜ゴルフを欠かしたことがありません。唯今86歳半、何とか90歳迄はゴルフを続けたいと思って(自慢をすると病気になる由)おります。

関山 道雄 (昭28経)

先日は現役の人がわざわざ会社へ来て頂いたのに、緊急の役員会で会えず失礼しました。よろしくお伝え下さい。

植木 實就 (昭6高)

御案内有難く拜見。近ければ出席致し度いですが、乍残念、欠席致します。当日の盛会を御祈り致します。

北條 貞夫 (昭6高)

年齢満81歳です。別に病気もありませんが、ボンコツをしみじみと思ひます。若さは二度と戻りません。皆様大いに若さを大切に頑張って下さい。

草野 嘉一 (昭7学)

今夏は北軽井沢の山荘で読書生活を送りましたが、唐津一「技術大団に孤立なし」、W.カール・ビブン 斎藤精一郎訳「誰がケインズを殺したか」などが面白かったです。

(1990.9.11記)

宮本 伯夫 (昭9学)

今年の夏は何時までも残暑厳しく、家で毎日ゴロゴロして過しました。9月中旬以降になればポツポツゴルフを始めようと思つて居りますが、80歳を過ぎるとボケが始め、又、日々体力(特に脚・腰)が弱つて来るのがよく解ります。日常生活には不自由はありませんけど。皆様の御健勝を祈っています。

池谷 俊一 (昭10学)

元気に過しておりますが、歩行困難のため附添を必要とする為、欠席致します。

本間 孝之助 (昭10学)

毎年11月から翌年4月末まで神戸市西区富士見ヶ丘1丁目13-9にあるSecond houseに在住しています。5月から10月末迄下記の住所に過しています。暑さ寒さに弱くなり、茲10

年程は泳いでいません。特別に悪い所は無いのですが、先ずは健康第一と思って居ります。
皆様に宜敷く御伝へ下さい。

山 村 宮 男 (昭12学)

兄の代理(実妹)で申訳けありません。五月より長期病氣中ですので、今後も御通知書は本人も出来かねますから。お願いまで。

小 池 三 郎 (昭11学)

体調充分ならず、欠席いたします。

古 賀 克 己 (昭11学)

元気で過しています。来年3月で昭和11年以来の勤務生活を終る予定で、その後の生き方をあれこれ考へています。来年もマスターズには出たいものです。

太 田 正 元 (昭13学)

元気にしてゐます。

伊 藤 英 二 (昭13学)

東京凌泳会ゴルフ会が9/3(月)に青梅ゴルフクラブで行われました。戦前のOBの参加が少いので敢然と参加しました。小山先輩は四歳年長ですが、若い頃からの鍛え方が違い、歩くスピードに驚きました。二桁ではいけると思つてゐたが些か不満。さて、耳が遠いので会に出るのが苦痛です。

大 内 義 仁 (昭14学)

午前はプール、午後は昼寝の夏でした。盛会を祈ります。

大 西 眞 博 (昭15学)

七月の終り頃、暑い日に茅ヶ崎の海に入りました。続けて泳ぎたく思いましたが、台風が近づき波が高くなり中止。でも、久方振りの海水浴は感激でした。年をとつても泳げることは幸福です。皆様によろしく。

大洋に出でて泳ぎつ 空見ればうす雲の上に 三日月かすむ

吉 野 栄 (昭15学)

この夏は、ひどい酷暑で参りましたが、どうやら元気です。又一年!

平 井 洋 (昭16学)

月に俳句の会が9つ、ほかに福岡、山口、大阪に教えにいらつています。定例甚会は月に7回、会社OBクラブと甚席で甚を打ちますから、家に居る事は殆どありません。

前 田 寿 (昭16学)

“月見裏 むかし少年招かれる” 欠席します。名簿変更ありません。

森 芳 夫 (昭16学)

週一回の水泳とゴルフで何とか体調の維持に努めております。

山 口 宗 樹 (昭16学)

小生、年金生活ですが結構忙しいものです。元気な方は皆忙しくしています。記念誌の発行の為、いろいろお世話下さる方々有難うございます。現役の皆様、シーズンご苦労様でした。

山 川 初 雄 (昭17学)

前略 〓月見の宴〓のご案内いたゞき有難う。例年の事乍ら本年も欠席致します。出席先輩の諸兄によろしく。宴の盛会を祈ります。

石 川 七 郎 (昭19学)

病氣療養中です。

井 上 清 (昭19学)

毎回御案内戴き乍ら欠席続きで相済みません。御案内の度毎に六甲台プールを思い出したりして居ます。今年は大変な猛暑で、3度ばかり近くの海につかりました。御盛会祈って居ります。

稲 垣 信 夫 (昭20学)

ご健闘を風の便りに拝聴してます。本年はとうとう水に入らずです。これからスウィミングプールで少し身体のリクリエーションをしようかと思つてゐます。

山 内 利 男 (昭20学)

インドへ出張して居て御返事が遅れました。

三 宅 林 (昭21学)

他の行事と重なり、月見の宴は失礼します。盛会を祈ります。

佐 脇 廣 平 (昭25学)

家に帰ったのが久し振りで、返事が間に合わなくなりました。この次こそ、と心に決めておきます。

山 越 重 義 (昭23学)

相談役になって肩の荷を下し、気が緩んだ為か若干体調をくずし、ドクターよりすべて八分目の生活を命ぜられている。三宅さんを始め知っている皆さんによろしく。

石 井 義 章 (昭27学)

座骨神経痛で困っていますが、それ以外は元気です。凌泳七十年史の編集に取り組んでいます。御協力下さい。2年4月に六甲アイランドへ転居しました。一寸変わった島です。お立寄り下さい。

田 淵 五 郎 (昭30營)

マスターズ(短水路・長水路)、習志野市民大会、千葉県民大会に今年も皆勤。水泳のおかげで元気です。

堂 本 直 正 (昭30工)

元気です。勝手ながら所用ありまして。凌泳70年史編集委員に至らぬながら末席でやらせていただいております。御投稿文の読み合せをさせていただくと、いかに歴史のある部かと、改めて感じております。

松 田 司 朗 (昭32法)

八月はリオマスターズに行って参りました。その後、アルゼンチン、ペルー等廻って、面白い涼しい旅でした。出席の皆様宜しく。

高 橋 靖 周 (昭33経)

月見の宴のご案内を頂き有難うございました。所用のため出席できず誠に残念です。皆様によりしくお伝え下さい。ご盛会をお祈りいたします。なお、先般モスコー滞りの永野一彦君(昭35年卒、E、現三菱商事九州支社長)と卒業以来の楽しい酒を飲み、六甲台プールの懐かしい思い出を語り合いました。

細 田 忠 雄 (昭33軽)

目下100個人メドレーに挑戦。今はとにかく完泳を目標。バタは出来るだけ押え、バックは適当にブレで休み、フリーで飛ばす計画だが、バックでもう息切れ。バックがこれ程しんどい泳ぎとは思わなかった。皆様宜しく。

栄 川 泰 介 (昭34経)

相変わらず東南アジア廻りをしており、今月も13~19日マレーシア方面です。諸先輩によりしく。

前 田 修 (昭34理)

「凌泳七十年史」の編集委員を仰せ付かり、また「果無山岳会」を創設しましたので多忙です。申しわけありませんが、今年度の月見の宴は欠席致します。凌泳会の皆様によりしくお伝え下さい。

上 村 久 治 (昭35経)

相変わらず航空貨物を担当しております。遠方のため月見の宴には出席できませんが、皆様によりしくお伝え下さい。

(注) 本年11月より郵便番号が227から225へ変更となります。

黒田 英雄（昭35営）

転居しましたのでよろしく。

野田 浩志（昭36営）

凌泳の近況欄を見ていますと、何時も「出張」により欠席の返事ばかり出しているようです。今回又しても「出張」です。北海道から帰って来た酒井君（9回）に会えるかも知れない、と期待していたのですが……。

浅間 啓介（昭37経）

久しく諸兄にお目にかかっていません。水泳クラブには入っていますが、本年は2回きりの水泳です。当地はゴルフの機会が多く、週末はゴルフのプレイが大半です。皆様によろしく。
敬具

井上 隆史（昭37営）

ご無沙汰しております。今シーズンの戦績はいかがでしたか。私の方も週2回の泳ぎを目標としておりますが、週1位のペースにペースダウンしています。ハワイのマスターズを目標したいと思っています。

岡田 重義（昭37営）

ここ数年、水との縁も薄く、再度自ら身を投じた繊維業界の構造改革の波にのみ翻弄されている毎日です。現役部員諸兄諸姉もシーズンオフには勉強に励み、プールの波よりもはるかに厳しい世間の波に立ち向う準備をして下さい。今季の活躍、御苦労様でした。

高岡 保宏（昭37教）

いつもご案内頂きありがとうございます。当日、あいにく県高校ジュニア大会が姫路市民プールで開催され、その運営にあたらなければならないので、出席できません。どうか皆様によろしく願います。

萩原 武（昭37工）

先日の市大戦では久しぶりに皆様にお目に掛ることが出来、10年前の自分に戻った様な気持ちでした。月見の宴も旧年ぶりです。楽しみにしています。

柳本 正雄（昭37営）

御蔭様で元気で頑張らせて頂いておりますが、水泳の機会がなかなかありません。御盛会であります様に。

米田 啓祐（昭37教）

4月から小学校に勤めるようになっていきます。6月の終わりにプール開きをしました。6年生になっても25m泳ぎ切れない子もかなりいるので、プール開きのとき、私の水泳を全校の子どもたちに見せてやりました。私が泳いだので、子ども達は大変びっくりし、刺激になっ

たようでした。

林 荘八郎 (昭38経)

ご案内ありがとうございました。私目下、出張中のため欠席いたします。ご盛会をお祈りいたします。

安 茂 弘 (昭39工)

返事おくれまして申しわけありません。今年の8月から近くのスイミングクラブに通っています。来年はマスターズ大会に出場してみようと思っています。

鈴木 正 弥 (昭39経)

8/7より3ヶ月の予定でバンコク出張中でございます。今後共よろしく願い致します。

武 政 英 幸 (昭39営)

「月見の宴」長らく失礼しております。今年もマスターズ水泳に、市民大会に、県民大会にと、参加することに意義を見出しております。

堤 荘 祐 (昭39教)

卒業以来、相変わらず子ども相手の仕事です。変則勤務(月曜休み、日・祭日出勤)のためリズムがこわれ、落ち着かない毎日です。でも、子ども達の笑顔はいいものです。ご出席の皆様によりしくお伝え下さい。ご盛会を祈ります。

前 田 和 秀 (昭40法)

冬くずした体調も徐々に回復しています。今年は1年、水泳出来なかった。残念。来年は心機一転、泳ごうと思っています。

阿 部 洋 三 (昭42工)

胃の手術から約1年が経過し、かなり体力が戻って来ました。この調子でいくと、あと2～3年で以前と同じ生活ができるのではないかと思います。

宮 部 高 博 (昭42文)

先日、東京凌泳会のゴルフコンペに出席しました。楽しい一日でした。当日、滝沢(兄)が、凌泳会名簿の住所が違っているので、今年の凌泳もついていないと話していました。直ぐにでも調査して下さい。滝沢さんの自宅のTEL 0472-41-2933です。

玉 置 明 (昭45経)

いつも出席出来ず申し訳ございません。元気でやっております。

藤 井 元 洋 (昭48教)

学校の運動会や地域の運動会などで忙しい時なので、いつも出席できません。今学校には、「日ノ丸」「君が代」の強制等、国家主義の嵐が吹き荒れています。海外派兵の動き等とも

総合的に考えて、今、日本は危険な状況にあることを皆さんも考えて下さい。

北川 敏行（昭52法）

裏面に記載のとおり、転居いたしました。名簿の次回発行分より訂正方宜しくお願い申し上げます。尚、未納の会費等ございましたら、お知らせ下さいませ。

酒井 正人（昭53農）

今年3月、上海日本人学校より帰国。裏面の住所に居ります。

塩浜 英二（昭53工）

昨年12月に奈良より大阪府交野市へ転居致しましたので、登録の変更をお願いします。

平石 康（昭53教）

フルマラソンに出ても、トライアスロンに出ても、どうして体重が増えるのでしょうか。年代別じゃなくて体重別表彰があれば、上位なのだと思います。今年35歳。やっとマスターズ挑戦の時がやって来ました。5年ぶりのカムバック（5年ごとに出場することに決めている）です。でも、浮力だけでは進みませんね。

木下 修一（昭53教）

1987年4月から倉敷市に移り住んで3年半になります。ここ数年間は、ほとんど泳ぎを忘れた生活を送っていましたが、ことしから週一回の割合でプールに通うようにしました。おかげでいくらか人生にうらおいを感じるようになりました。まだまだ若い私です。

大林 良和（昭55医）

小野市にきて3年たちました。小さいながら新居をかまえましたので、お近くにおいでの際は、お立ち寄り下さい。

土井 祐二（昭55法） 紀子（昭57教）

いつも色々にご連絡下さり、ありがとうございます。ご出席の皆様宜しくお伝え下さい。こちらは仕事の毎日で、中々シビアに苦しんでおります。

P.S 山口県の日本海側の海は、とてもきれいで沖繩並ですよ。

上田 剛弘（昭56営）

晴れてオリックス・ブレーブスと吾が球場グリーンスタジアム神戸の婚約発表も終え、ホッと一息つきたいところですが、婚約すればしたで、何かと気ぜわしい毎日が続きます。こんなうとういしいのなら、やっぱりこのまま独身生活を通そうかな、と、ふともうこともあったり……。

西山 朋子（昭57準）

大きなお腹で、週2回のマタニティスイミングに通い、猛暑を乗りきる事ができました。10

月末に出産の予定です。

杉野 馨 (昭58工)

返事が遅れ申し訳ありません。

石本 日和子 (昭58教)

先日の市大戦では、久しぶりに絶好調コンパノリを演じて、皆様にご迷惑をかけ、申し訳ありませんでした。おばちゃんになったせいか、最近学生時代を思い出すのも、はずかしい数々の失敗も、笑って話せるようになりました。現役の皆さん、恥をおそれず、元気に青春して下さい。

杉野 美奈 (昭58準)

七夕の日に長男 司 を出産しました。是非とも将来はオリンピック選手にしたいので、お腹にいる時からマタニティスイミングで鍛え、生まれてからはおフロで特訓、もうすぐベビースイミングを始めようとはりきっています。

呉 竹 正 人 (昭59法)

すっかり肩が回復し、2年振りにマスターズに出場できそうです。

谷 水 利 行 (昭59法)

9月22日のオープンに向け忙しい毎日を送っています。九州一グレードの高いゴルフ場作りをすすめています。休む間もありませんが元気です。

坂 田 純 孝 (昭60法)

長男は3歳。10月には2人目が生まれます。そのため今回は出席できません。現役の皆さんがんばって下さい。

吉 田 不二彦 (昭60営)

市大戦の時、主務に今年の後泳が郵便局の手違いで大学へ送り返されたので、再度送る様にしたのんだが、まだ着いていない。どうなっているのか?

川原田 貢 (昭61教)

相変わらず忙しい日々を過ごしております。渡伊が決まっておりますが、都合で出発が遅れております。なかなか(今年は)ボロ、競泳ともに応援に参加することができませんでしたが、新聞等を見て応援しております。来年度期待しております。

島 崎 昌 彦 (昭62農)

ご無沙汰しております(特に同期の皆さま)。大学院のころとあまり変わらない毎日で、国民の皆さまのために働いております。最近、体力の衰えの激しさに危機を感じ、スポーツクラブに通って少しだけ泳いでいます。相変わらずヘタな字で失礼しました。

三 好 岳 (昭62法)

またもや異動となり、東京にやって来ました。こちらでは今まで以上にハードに働き、そして遊ぶつもりです。

近 藤 直 明 (昭63営)

今年もあまり試合に顔を出せませんでした。唯一、京大の関ボロ初黒星をこの目で見られたことが収穫でした。先輩諸兄、現役諸君に会えることを楽しみにしております。

P.S こんなに日が押し迫ってから案内状を出すな！ 受け取る者の気持ちも考えろ！！

井 口 恵 理 (昭63工)

今シーズンも御苦労様でした。最近、前よりも時間的に余裕ができてきたので、なるべく体を動かして、おばさんにならない様にしたいと思っています。

後 呂 忠 詳 (平 元 経)

先日、久しぶりに現役諸君と共に楽しい一時を過ごせました。元気な(飢えた?)彼らの姿に感心致しました。

奥 村 直 樹 (平 元 経)

4回生の皆様、どうもおつかれさまでした。又、申し訳ありませんが、月見の宴欠席させて頂きます。当日、小豆島にてトライアスロン大会(9/15,16)があり、既に申し込んであった為、小豆島より同じ月を眺めたいと思います。

甲 野 賢 (平 元 理)

現役諸君、今年も御苦労様でした。戦績には物足りないものを感じますが、君達自身が一番悔しく感じていると信じています。私の近況ですが、9月23日、大分県国東半島でトライアスロンに出場するため、現在テーパーに入ったところです。この年になると、いかに翌日に疲れを残さないかが、練習最大のテーマです。あと今年、10月のびわ湖一周サイクルマラソン、山口県で11月に30km山岳マラソンに出場する予定です。当日は諸先輩方に御会いできるのを楽しみにしています。

郡 幸 雄 (平 元 工)

関ボロJr. 2位、おめでとうございます。来年、本選の関ボロでぜひ優勝を狙って下さい。私は卒業に必要な修論の実験が始まり、苦しんでいます。

竹 本 和 広 (平 元 工)

10月中旬に勤務先に温水プールが完成します。たまへには泳ぐのもいいかな、と思う今日このごろです。

村上 美和 (平元教)

社会人2年目となり、ようやくわずかな余裕も出てきて、平日は5時から、エアロビ、スイム、ジムetc…、週末は遊行、ドライブと、大阪のOLしています。But「後悔のない素晴らしい汗がかけるのは現役の時だけだな」¹¹と改めて実感しました。皆さん、頑張ってよい汗かいて下さい

植松 忠士 (平2工)

8月いっぱいまで4月から続いた工場実習も終わり、やっとまともな人間らしい生活になりました。ほっと一息ついています。今はまた退屈な第2次導入研修中で、14日にやっと配属が決まります。それはいいのですが、16日に朝から寮の防災訓練があるため、15日は残念ながら行けません。出席されるみなさんによろしくお伝え下さい。

羽瀬 智文 (平2法)

3月で退官されるゼミでお世話になった先生の最後の飲み会と重なるため出席できません。欲をいえば、もう少し早く知らせていただければ調整できたのですが。盛会をお祈りいたします。



マスターズコーナー

'90日本マスターズ短水路大会

◎兵庫会場

日 時 平成2年4月8日(日)

場 所 NASポートピア・プール

本年より名門、佐賀高校水泳部出身の古賀先輩が参加頂きました。お陰で合計年齢267歳のリレーも組めました。殆どの人が何らかのメダルを手にする事が出来ましたが、藤本さん一人、2種目ともおしいところで逸したのは残念でした。

出場者及び成績

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
古賀 克己 (昭11)	75+	25 自	2	20-50	50 自	1	52-08	
三宅 林 (昭21)	65+	50 平	1	44-38	100 平	1	1-42-05	
中井 三郎 (昭27)	60+	25 背	1	22-35	25 平	7	23-62	
石井 義章 (昭27)	60+	50 平	3	47-82	100 平	1	1-52-49	
山本 隆 (昭57)	30+	100 自	4	1-09-43	100 バタ	3	1-17-37	
藤本 栄美 (昭59)	25+	50 自	4	33-73	100 自	4	1-14-28	
古賀・三宅・中井・石井	240+				100フリーリレー	2	1-15-91	

(石井記)

◎東京会場

日 時 平成2年5月13日(日)

場 所 江戸川区スポーツセンター

関東勢9名が参加、日頃の練習の成果を発揮されました。

出場者及び成績

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
小山賢之助 (昭7)	80+	100 平	1	2-09-21				
田淵 五郎 (昭30)	55+	100 背	1	1-22-55				
武政 英幸 (昭39)	50+	100 個メ	2	1-20-20	100 蝶	2	1-24-66	
宮部 高博 (昭42)	45+	25 平	3	18-79				

岩切 博 (昭46)	40+	50 平		39-56	100 蝶	2	1-22-88
佐敷 定雄 (昭49)	40+	50 蝶	1	29-54	100 蝶	1	1-09-51
太田 雅彦 (昭58)	25+	100 個メ		1-17-70	100 背	2	1-20-61
長崎 真人 (昭59)	25+	25 平		16-61	50 平		36-69
近藤 直明 (昭63)	25+	100 個メ		1-18-14	100 自	2	1-02-75

(武政記)

◎福岡会場

本誌前年号で御紹介しました、溝口卓郎先輩は福岡会場に出場を目指し、練習に励んでおられました。試合当日の朝発熱、残念乍欠場されました。御静養の上来年は90+の部の日本新記録樹立を達成されますよう、皆様とともに祈りしたいと存じます。

(石井記)

'90日本マスターズ水泳短水路10傑入賞者

平成2年4～5月、全国15の会場で実施された短水路大会で、下記の方々が10傑に入賞されました。

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
小山賢之助 (昭7)	80+		25 平	1	23-22	50 平	1	53-48
					(日本新)			
			100 平	1	2-09-21			
古賀 克己 (昭11)	75+		50 自	9	52-08			
三宅 林 (昭21)	65+		25 平	3	19-75	50 平	2	44-38
			100 平	2	1-42-05	200 平	2	3-54-40
田淵 五郎 (昭30)	55+		25 背	3	16-75	50 背	3	36-82
			100 背	3	1-22-55			
武政 英幸 (昭39)	50+		100 蝶	5	1-24-66	100 個メ	5	1-20-20
岩切 博 (昭46)	40+		100 蝶	8	1-22-88	200 個メ	3	3-02-25
佐敷 定雄 (昭49)	40+		50 蝶	1	29-54	100 蝶	2	1-09-51
太田 雅彦 (昭58)	25+		100 背	8	1-20-61			
藤本 栄美 (昭59)	25+		100 自	9	1-14-28			

(武政記)

ジャパンマスターズ '90 (長水路大会)

日 時 平成2年7月12日(木)～15日(日)

場 所 代々木オリンピックプール

全国より総勢14名が参加、4日間にわたり水しぶきをあげました。昨年同様、14日終了後にピャパーティーで歓談の時を持ちました。

出場者並びに記録

氏名	卒年	区分	種目	順位	タイム	種目	順位	タイム
小山賢之助 (昭7)	80+		50平	1	54-31	100平	1	2-13-07
			200平	1	5-33-60			
三宅 林 (昭21)	65+		50平	2	44-11	100平	2	1-42-34
田淵 五郎 (昭30)	55+		50背	2	37-67	100背	2	1-24-74
松田 司朗 (昭32)	55+		100自		1-26-80	200自		3-18-42
			50蝶		43-81			
井上 隆史 (昭37)	50+		50背	4	39-17	100背	8	1-29-40
武政 英幸 (昭39)	50+		50蝶		34-50	100蝶	6	1-27-45
			200個メ	4	3-12-01			
岩切 博 (昭46)	40+		100平	6	1-26-08	200平	4	3-09-97
			200個メ	4	3-12-01			
佐敷 定雄 (昭49)	40+		100自	5	1-04-76	200自	3	2-28-03
			50蝶	1	29-70			
富岡 洋三 (昭57)	30+		50平		38-27			
太田 雅彦 (昭58)	25+		100背	7	1-17-08	200背	3	2-55-48
長崎 真人 (昭59)	25+		50平		37-43	50平		36-69
浦野 敏明 (昭60)	25+		50平		37-50	50蝶		32-86
安井 啓史 (昭63)	25+		100自		1-10-04			
近藤 直明 (昭63)	25+		50自		28-65	100自		1-05-46
			400自		5-37-22			

(武政記)

現役部員寄稿



「水泳ぐんです」

主将 染谷電車

水球。関西学生水球リーグ負けました。旧三商大戦負けました。市大戦負けました。インカレ負けました。関西選手権負けました。中学生に負けました。関ボロJr負けました。

競泳。関西国公立戦負けました。関カレ負けました。全国国公立大学出れませんでした。市大戦負けました。近国負けました。

或る偉い人が言ったのを聞いたことがあります。「負けても精一杯やった。良かった」と思えるような試合ができる様に努力なさい、と。でも、それはうそです。それは最悪の負け方です。思い出以外に何も得る所がありません。

人間の心は、いやなことは忘れてしまう様に出来ています。もしくは「いやなこと」の中の少しの「良かったこと」で満足しようとしてしまいます。そこを取って忘れずにいて下さい。ごまかさずにいて下さい。そんなサディズムが勝利に必要なだと私は思います。

「練習」

競泳主任 井上 聡

スポーツをしているものにとって大切なことは、練習である。たとえどんなに素質のあるものでも練習不足で試合に臨んでも、ベストなどではないだろう。

練習をすることは非常にしんどいことだし、競泳の練習は、同じ所を往復するだけなので、変化にも乏しい。しかし、記録を伸ばそう、試合に勝とう、と思うならば、よりハードな練習をしなければならぬし、ただ漠然と泳いでいても効果は少ないだろう。練習にのぞむときに、1日1日、さらには1本1本毎に考えながら目標をたてて泳ぐことが必要である。

個々それぞれ自分の目指しているものがあるはずだから、その目標を達成するためには、何をすれば、どうすれば良いかを考え実行してもらいたい。自分はこれだけやったんだ、という自信を持てれば、結果は自然についてくるものである。シーズンの終わった後に後悔するのではなく、満足できるよ

うなシーズンを送ってもらいたい。

「天才」

水球主任 一 越 健 治

「あなたの一番好きな言葉は？」

「天才」

「へー、それなら一番嫌いな言葉は？」

「努力」

こう答えると、ちょっと、とまどった様な顔をする人がいるかもしれない。一般に世間では、努力する事は良い事だ、という認識があるから。しかし私は、努力という言葉が伴う、何かせっぱつまつた、背中を押されている様な感じがいやだ。そして天才という言葉が持つすばらしい響きにあこがれてやまない。

落合の様にホームランを打ち、ベッケンバウアーの様にフィールドを駆け、プロストの様に緻密に走り、小谷美可子の様に美しく舞い、グロスの様に豪快に泳ぐ。夢はつきない。

しかし、当然ながら私は天才ではない。全く練習をせずともシュートなど楽々と止めてしまう、という事はいえない。この儂い思いがかなわぬなら、せめて試合の間だけでも彼らと同じ様に光り輝いていた。こう訴える己れの貪しい心を満たさんが為に、私は練習という形の努力を行うのである。バックシュート、ミドルシュートなどものともせず、フェイント、ループは一目で見破る。そんな風になりたいが故に、まき足をし、飛びつきをし、相手を研究するのである。

他人にとっては何の価値も無い事かもしれない。しかし俺は、そのわずかな一プレー、一瞬の為にこれから努力していこうと思う。ただそれだけの為に……。

水泳部員の役割

主 務 城 一 男

我々が籍を置いている水泳部は、さまざまな人が集まって構成されている。この組織としての水泳部をうまく機能させるためには、各人が、それぞれ好きかってに行動してはだめであろう。

水泳部に在籍している以上、部員としての権利として、六甲台のプールにやってきて練習すること

が考えられる。我々は水泳部員である以上、この権利が与えられるのは当然である。一方で、義務も存在するはずである。それは、さまざまなことが考えられるが、例えば、与えられた仕事をきっちりとやるとか、クラブの備品は大切に扱う、とかが考えられる。

仕事に限定して話を進めると、水泳部に属する限り、この仕事からは逃れることはできない。仮に逃れることができたとしても、その仕事自体は絶対に消滅しえないので、当然のごとく他人にそのし寄せが行くのである。自分がやっても他人がやっても、その仕事自体は消化されて行くわけであるが、一定量の仕事を一人でこなすのと二人でこなすのとでは、後者の方がより効率的でないだろうか。ここで言う仕事が、もし、特殊な技術を要するのなら話は別だが、そうでない限り部員全員が仕事を分担し実行した方が、クラブ全体の利益は増すのではないだろうか。さらに言えば、各人が与えられた仕事を確実にこなせば、クラブ全体の利益はmaximumになるであろう。

要するに、部員全員が少しずつ労力を出し合いさえすれば、クラブという組織はスムーズに機能するということである。自分から仕事を捜してまで行動してほしいとまでは言わないが、少なくとも与えられた仕事は、こなしてほしいものである。

ここまで長々と説教くさいことを書いてみたが、最近では各部員がうまく義務を果たしてくれているように思える。これは私にとって大変ありがたいことでもあるし、また、うれしいことでもある。この状態が長くつづくことを祈るだけである。



卒部の辞

(平 理) 井 上 達 晃

中学・高校時代は、制限された環境でどれくらいやれるか、ということに頭を悩ませ続けた。ちなみに、練習は週三日、ピークでも一週間の練習量は、計一万メートルだった。大学に行ったら、まともな水泳部に入ろうと実は心に決めていた。地元神戸大には速い選手がたくさんいることも知っていた。

いざ入部してみると、中高時代の水泳部との違いに愕然とした。神大水泳部は、私が理想としていた水泳部よりはるかに素晴らしい水泳部だった。練習は毎日あるし、一日5000mは泳げる。合宿もあるし、遠征もある。試合の時は、全員が一心同体となってチームメイトの応援をする。初めて県以上のレベルでの試合を経験することも出来た。こんな今となっては当たり前のことが何もかも新鮮だった。また神大水泳部は、本業の水泳以外にも、サーオリ、六甲祭での活躍には素晴らしいものがあった。他のクラブを寄せつけないパワーが漲っている。四年の大学生活を振り返ると、自分は、神戸大学理学部の学生であるより、神戸大学体育会水泳部の部員である、とはっきり言える。もちろん、途中で練習がいやになった時もあるけれども、それを考慮してもそう言える。こういう気持ちで卒業できる自分は幸せものだと思う。

ところで昨年、競泳面と水球面が出来て、それぞれが本格的に活動し始めた。しかし、部員の頭数の確保はもちろんだが、精神面でも技術面でも後輩を引っ張って行ける強力なリーダーが毎年二人も必要なわけで、そういう意味でも新体制が軌道に乗るまでの困難は多いだろう。長い歴史から見ると弱い時代があってもおかしくはない。その時はクラブ内の体制を整えるのが先決だと思う。四回生はいい成績を残したいという気持ちが先行してしまうのは当然だが、先のことを考えて後輩を指導してくれ。決して日雇いのような選手に頼らないで下さい。地道に努力している下級生が大勢居るのだから。余裕を持って勝つのが理想だよ。

次に、私の現役時代の記録をここに書き留めておくことにする。ド忘れしないうちに。

	100背	200背	
中二	1-22-4		神戸市学年別五位
中三	1-14-4	2-44-8	神戸総体六位
高一	1-11-3		
高二	1-11-2	2-37-2	国体予選八位

高三	1-13-8	2-42-1	
大一	1-10-4	2-35-5	
大二	1-08-8	<u>2-26-86</u>	全国国公立九位
大三	<u>1-08-69</u>	2-30-0	
大四	1-09-0	2-29-9	

とにかく、これが10年間全力を尽くした結果である。

最後に、追いコンの時「口は災いのもと」という有り難いお言葉を下さった後輩諸君へ一言。「雨降って地固まる」という諺もあるんだよ。失敗を恐れず、言いたい事言い合えよ。

健闘を祈る。

(平3 法) 笠田 幸介

水泳部に入部したのは何故か、という問いについて、私は解答することができない。それまで競泳の試合を見たこともなかった。ましてや水球はなお縁遠い存在だった。そういう私が神戸大学水泳部の一員となり競技してこれたことは、運命的としか言いようが無い。

運命的な水泳部との出会いから4年間の水泳部と私との様々な関わりを回想すると、ただ胸が熱くなるばかりだ。そして、その熱い想いは、懐かしさと、後悔と、悔しさと、感謝と、ささやかな満足とが入り乱れた感情だ。

懐かしさ。全てがもう過去となってしまった。あっという間の4年間。夢を見ていたように思える。戻れるなら……。

後悔。生きてゆくことは後悔の連続だと思う。たとえその時は最良の選択だと思っても、後で後悔することは往々にしてあるが、私の大学生活(=水泳部生活)もその例外ではない。競技者として、練習への取り組みかた、目標の設定、結果に対する自己評価、全てに於いて甘かった。水球主任としてその役割を果たせたか。4回生になってからのリレメンバーの責任はまったく果たせなかった。

悔しさ。負けた悔しさ。怪我をして大事な練習に出られない時の悔しさ。止めねばならないシュートを止めることが出来なかった悔しさ。

感謝。水泳部との出会いは、同時に多くの人との出会いだった。自分の弱さを知ると同時に、周りの多くの人の協力の偉大さを知った。特に水球主任の大役を及ぼさながらも貫徹できたのは、原田さんをはじめとする諸先輩方と、89年の関ポロの後、共にゼロから出発した仲間達の協力のお陰だ。本当に有難うございました。

満足。京大に勝ったこと。インカレでの明治との試合。競泳ではマイナーな試合ながらも表彰台に乗れ、チームに貢献できたこと。厳しい練習に耐えたこと。ささやかな満足は小さな誇りでもある。

後悔はしても、悔しさは残っても、私が神戸大学水泳部を選択したことは間違っていないかった、と言うことが出来る。

運命的な出会いから始まった水泳部との関わりは、形は変わるがこれからも続いてゆくだろう。陰ながら後輩諸君の活躍をのっています。

(平3 農) 柴田 英之

初心者が水球選手としてやっていくには。 8726323 A 農学部 柴田 英之

1. 諸論

初心者としてのハンディとして、泳げない、ハンドリングが悪い、肩が弱い、頭が悪い、等が挙げられる。原田氏によって、初心者は競泳選手としてやっていくのは不可能に近い、という事は断定されている。又、守沖氏によって、パワーのある初心者は、そのパワーで泳力等をカバーできる、という事も証明されている。何もない私が、いかにして試合に出るか、という事を考えてみたい。

2. 材料と方法

原田氏、郡氏等のいじめ、もとい、厚くあたった御指導、ウェットスーツとウェイトベルト、関学の温水プール、などの材料をもとに、自分は絶対うまくなる、という信念をもって練習する。

3. 結果と考察

3年の夏にフローターに抜てきされ、多少泳げるようになり、シュートも打てるようになった。レギュラーをとれたのは、他にやる奴がいなかったからに外ならない。さらに、4年になって強力な1年生が入ってきたが、この中にフローターがいなかった事も、レギュラーとして安泰だった原因といえよう。しかし、自分なりに結構がんばった結果だという事も、ここで明確にしておきたい。

4. 謝辞

私がインカレに行けたのは、以上のように原田さんをはじめとする先輩方の御指導があり、よくチームをまとめてくれた同輩がいて、夢を現実としてくれた後輩たちがいたおかげでありここでまとめてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

以上で私の卒部論文を終わらせていただきます。

(平3 農) 当麻 尚正

私の4年間が終わってしまった。とてもこれに記しきれものではないが、私は4年間、ずっと夢

を見続けてきた。神大新、全国国公立決勝進出、インカレ決勝リーグ進出、etc. …… もう少しだった。

大学生生活を振り返ると、クラブしか私には残っていない。しかし、一般学生が解らない体育会活動、しかも水泳部でやり終えたことに誇りを覚える。一方で、もっともっと頑張れたという悔いもあるし、もっとバカになって、がむしゃらにやりたかった、と引退してから下級生のバカさを見るにつけ寂しい気持ちになる。

自分にはないパワーが欲しかった。酒を飲んでも、徹夜しても、コースの悪いシュートを打っても大丈夫なパワー。これを求めて練習してきた様な気がする。下宿も又一種のパワーが必要だった。嵐の様な生活、それでも⑬の久村さんや、⑭の原田には遠く及ばない。その下宿も去年の12月に終了し、何もかもが一度に終わってしまったかの様で非常に寂しい。とりあえず必死でやった。そんな私の4年間であった。

最後になりましたが、御世話になりました先輩方、ひどいことをした後輩達、やりたいようにさせてくれた同輩達に感謝の意を表し、私の卒部の辞とさせていただきます。

(医学部在学中) 中川 篤 俊

僕の4年間の水泳部生活は、前後の2年間で随分違っていた。

初めの2年間はクラブになじめず、ずっと違和感を抱きつづけていたように思う。それが3年になると一転して、部屋に行くのが楽しみになった。皆と話すのが面白くなった。又、自分なりの目標を意識して練習するようになった。こんな風に後半の2年間は、良い思い出が多い。

振り返ってみて、僕はクラブにどっぷりつかるといことがなく、いつも学部の生活、つきあいを優先させてきた。しかし、やはり水泳部に入ったのは正解だったと思っている。

これからもよろしくお願いします。

(平工) 東 圭 紀

水泳選手としての自分に別れを告げる時が来ました。名残り惜しい気もするけれど、いいかげん別の人生を探し始めるべきですね。

13年間ほとんど休むことなく泳ぎ続けてきました。大学生になってまで毎日四角いプールを行ったり来たりする日々を選んだことは、決して悪い選択ではなかったと思います。

この4年間、タイムの伸びは微々たるものだったし、水球でもとうとう優勝できず仕舞いでしたけれど、精神面では、少しは成長できたつもりです。

もっと自分を主張すべきだった。もっともっと練習頑張ればよかった。自分の未熟さをつくづく痛

感じ続けた4年間でした。

けれど、今の自分に満足せず、常に高い所を目指して自分なりに努力した4年間であった、と自負しております。水泳から身を引いた後も、その姿勢は失いたくありません。

水泳部に残る人達は、決して後悔のないように。一つのこと熱中できる毎日は、学生時代でないと体験できないと思います。常識や他人に合わすだけでなく、自分の心に感じたことを大事にして水泳に打ちこんで下さい。必ずいい結果がでるはずですよ。

最後になりましたが、私を支えて下さったOB諸氏、同回生諸君に心から感謝します。特に夏の日差しの下、私の退屈な練習に付き合ってくれたマネージャーのみんなにありがとうと言いたい。彼女達の努力なしで私の学生時代のベスト記録は有り得なかったと思います。

(平 経) 三宅正樹

～ FANTASTIC STORY ～

4年前、僕が水泳部の門をたたいた理由は単純だった。それは泳げなかったからである。水泳部に入れば、不器用な僕でも泳げるようになるだろう、と思ったのだ。実際、僕は数カ月で泳げるようになった(熱心な先輩方の御指導で)。

当初の目標を達成した僕には、新たな課題が待ち受けていた。それは「速く泳ぐこと」だった。しかし、この2つ目の目標は、一筋縄で達成できるものではなかった。呼吸を制限される競泳特有の性質のため、インターバル練習が苦手だった。与えられたメニューをきちんとこなせたのは、2年になる前の春合宿の頃だった。やがてメニューをこなすことが目的となり、速くなるための工夫を怠っていた。でも、他人がレースで活躍しているのを見ると、ミーハーな僕は、それに憧れざるを得なかった。まず、彼らと自分のBODYを比較した。そこには決定的な違いがあった。そこで僕は「水泳は力なり」と思い込み、ひたすらウェイト・トレーニングに燃えた。そして、少しは体格がましになって力もついた。ところが、タイムはそれほど変わらなかった。

その後も自分なりにメニューを工夫し、いろんな練習パターンを試してみた。しかし、たいして記録は伸びなかった。自分の運動神経の鈍さに絶望した。昔からわかっていたことだが悔しかった。練習が嫌になり、退部を考えたこともあった。でも、なんとか踏みとどまった。逃げることは、自分の負けを認めることだと思ったからである。

冷静に考えてみても、水泳における素質の比重は、かなり大きいと思う。かと言って、努力することが何も意味をなさないというのではない。むしろ素質の重要性を認めた上で練習の困難さに立ち向かうことに意義があると思い始めた。つまり、他人には勝てなくても自分に克つことはできる、ということだ。つい他人のタイムと比較して「俺は速いゾ!」とか、「俺はダメな奴だ」と一喜一憂して

しまいがちだが、絶対的な価値は「いかに自分と闘ったか」にあると感じた。だから、他人のことはあまり気にせず、マイペースでやっていくことを覚えた。この考え方が、今後の人生で何らかの壁に直面したときにきっと役立つだろうと思っている。

自己実現欲求を抱きながら、試行錯誤を繰り返した4年間であった。

(平3 法) 箕 朋 子

4年前、2度とプールには入るまい、と決めていました。これ以上スイミングで育った選手の後を泳ぎ続けるのは惨めだと思っていたのです。が、ひょんなことから水泳部で9度目の夏を過ごし、やがて、他人より速く泳ごうと、なりふり構わぬ自分を晒け出すまでに私を変えてしまった、水泳部のパワーに出逢えたことは幸運でした。水泳に対しすっかり冷めていた私を乗せてしまった諸先輩の輝き、とことん明るく、文句ひとつ言わずにいてくれた同輩、それに、何故か慕ってくれた後輩に感謝します。全てが私の原動力でした。限界に達したとは思いませんが、限られた時間と条件の中で、出来るだけのことはしました。何となく泳ぎ続けた8年間に、この4年を重ねたことで、初めて競泳というものが少しわかった気がします。

後輩諸君には、何かを掴むために泳いでほしいと思います。苦行みたいに言わず、ガッツポーズをきめる日に向けて生き生きと、そして仲間を皆利用するくらいの貪欲さをもって取り組んでほしいのです。1人1人が水泳の中に目標を置く限り、誰もが利用価値を秘めているはず。思いきりぶつかりあってください。

(平3 教) 小 島 未 央

4年前、水泳のすの字も知らない素人が、気がついたら両手にストップウォッチを持ってプールサイドに立っていました。

泳げなくて、水泳なんか大っ嫌いで、水泳の授業をさぼるためならなんでもやった私にとって、水泳部という場所がこんなにも居心地がいいところだったなんて思ってもみませんでした。

最初は、仕事を覚えてなんとかこなしていくのが精一杯で、周りのことを考える余裕もなかったように思います。マネージャーは選手を助けて、支えていくことが仕事なのに、逆に助けてもらって、支えてもらって、4年間まがりなりにもマネージャーを続けられたのは、みんなのおかげです。みんなの一生懸命頑張っている姿、ベストを出した時や試合に勝った時のうれしそうな顔を見ると、とても元気づけられて、夏の暑さも、しんどさも、大量のエントリーも、苦しいことはみーんなどこかへ行ってしまいました。本当に感謝しています。

気がついたら水泳部一色の生活で、ある時、このまま水泳部につかっていくことが何となく不安で

外の世界に向かいたい気がして、クラブの活動時間以外は意識的に、水泳部と距離をおこうとした時期があります。今から思うと、あれこれ余計なことは考えずに、もっとどっぷりつかっちゃっても良かったんじゃないかしら、と少し後悔しています。あれだけ楽しい4年間が過ごせたのだから、もっとどっぷりつかったら、もっと楽しい4年間が待っていたのかもしれませんが。

この4年間、ずっと周囲の人にお世話になりっぱなしで、そのくせ自分は何もしてあげられず、本当に申し訳ありませんでした。特に後輩のみんなには、先輩らしいこともしてあげられずに申し訳なく思います。

最後になりましたが、私に素敵な4年間を与えてくれた神戸大学水泳部、そして、その4年間を素敵に彩ってくれた先輩方、同輩達、後輩達に心から感謝します。

(平3 教) 戸井 浩子

4年前、某先輩に誘われるまま、おずおずと足を運んだ六甲台水泳部。緑色のプールと、傾きかけた部室と、超陽気な先輩方に驚いた水泳に関する知識ゼロの新米マネージャーは、いつの間にやらプールサイドで大きな声を張り上げて、ジャージ姿で電車にも乗ってしまう強いマネージャーになりました。

この4年間を振り返ってみると、私のクラブ活動は、マネージャーという名に甘えた反省すべき点の多いものであったと思います。機械的にタイムを計り、スコアをつけることだけがマネージャーの仕事ではない、ということに気付いたのは、いつだったでしょう。試合に臨む人々の息苦しいまでの緊張感を知ったのは、いつだったでしょう。マネージャーには専門種目も自己ベスト記録もないけれど、自らも積極的に練習に参加することによって選手の人々の喜びや苦しみを共有でき得ると知ったのは、いつだったでしょう。

私は、ひたすら目標に向かって泳ぎ続け、一生懸命ボールを追いかける、その姿が好きでした。仲間を応援し、ベストに喜び、コンパで騒ぐ、その笑顔が好きでした。

水泳という競技に全く無縁であった私に、様々な体験の場を、感動を与えてくれた神大水泳部に心より感謝しています。どうぞ後輩のマネージャーの皆さんも積極的にクラブに参加して、選手の人々と素敵な感動を分かち合ってくださいね。

最後になりましたが、お世話になった先輩方、いつも笑わせてくれた後輩の皆さん、そして何よりも、4年間私と付き合ってくれた同回生の皆さん、本当に有難うございました。

皆様の御活躍をお祈りしております。

現 役 部 員 紹 介

毎度おなじみ2回生による現役部員紹介です。



(4回生)

青 木 浩 介：経4：個：小倉高

彼は比類なき勉強家であると共に比類なき貧乏人である。そのくっきり浮かび上がったあばら骨の間の溝を、思わず紙粘土で埋めたくなるのは私だけであろうか。また彼は、活字には強いが酒には弱い。ビールが回って来るとすぐ隣へ回すので、彼のいるテーブルにはビールが残らない。それでも仕方なくコップいっぱい注がれたビールをまずそうに飲む彼が憐れだ。しかし練習に対する取り組みは真面目で、あばら骨シュートをビシバシ決め、指をいっばいに開いた「バイバイ」をして去っていく彼に我々はハッとするのである。

一 越 健 治：経4：水球：奈良学園

ええ～、ほくろ～、いちこしですう～。なんですかあ～。いちおう、すいきゅうしゅにんですう。という彼のボケに、初めて会った人はまずびっくりする。そして彼の真面目な練習ぶり、というか、無制限な練習時間にびっくりする。また彼は、練習試合後の挨拶において「オウム返し」という技を使い、敵チームをびっくりさせる。そして今年、ジュネーブ条約によって使用が禁止された幻のあの必殺技、歩く毒ガス・化学兵器「必殺ゲロ」によって我々一同をまたまたびっくりさせて欲しいものである。そんな彼も、水球においてはキーパーとして、神大の守護神となつてがんばってくれるだろう。

井 上 聡：工4：自短：北須磨高

彼の名は「聡」と書いて「すぐる」と読む。その体は豚のように丸く、態度は牛のように大きく、泳ぎはトドのように速い。サングラスを愛用し、退廃的なムードを漂わせる彼だがただだるいだけなのだ。以前から練習にあまり身が入らない彼であったが、体重ランキングのトップを同じ水泳部2回生の弟に奪われて以来、ますます身が入らなくなったともさきやかれている。しかし、今年は競泳主任として練習に真面目に出て、豪快な水しぶきを上げてくれることだろう。

加 藤 有 道：教4：自蝶：一宮高

ジャージャー、彼こそが弱体化しつつある神大競泳面の救世主として、3回生冬に登場した「ありみち」さんである。「なぜ今頃？」とみんながみんな思ったはずである。我々のポスターが効を奏したのだろうか、それとも、ただ卒業のめどがたち、そしてE.S.S.にあき

たのだろうか。まあそんなことはどうでもよい。しかし、その水泳部員顔まけの真面目な練習ぶりに我々はおどろき、負けてはられん、と思うのである。まだまだ秘められた所の多い彼ではあるが、熱心な練習とパワフルな体で我々の救世主となってくれるだろう。

小 南 裕 明：医 4：蝶：桐蔭高

悪口雑言でいつも騒ぎを起こす彼は、誇り高きサイヤ人。全メニューをバツでこなし、平気な顔をしている。そのパワーは今だ上昇中という。何事も大ざっぱなので、ビールの中に食べ物が入ろうとおかまいなし。何でも胃の中に入れて同じなのである。そんな彼が医者卵だということを聞き、未来の日本の医療体制に空恐ろしさを感じるのは私だけではないだろう。今年は、フリーザという最強の敵も現れたことだし、さらにパワーアップして、神大の競泳陣を引っばってってくれるだろう。

城 一 男：営 4：水球：戸畑高

水泳部では、「白のスプリンター」と書いて「じょう」と読む。そのスプリンターで、松蔭、海星の女をブイブイ言わせ、助手席にはいつも女が座っているという。幸運にも酒屋の息子に生まれた彼は、スプリンターにガソリンの代わりにアルコールを入れているらしい。コンパでは、ちびちびと酒を飲み、存在感のないように見えても実は、彼のまわりはオーラが立ちこめている。しかし、そんな彼も大好きな菓子丸ひろ子が結婚したときは、ヤケ酒をし、ひそかに涙を流していたという。今年は水球、競泳にがんばり、菓子丸ひろ子のことをふっきってしまうだろう。「うんそを〜」。

染 谷 光 裕：理 4：水球：住吉高

「練習さぼって合コン行ってもいーじゃん（いーじゃん）」と小泉今日子の後ろで踊っていた彼も、今では神大水泳部のおしもおされぬ主将となってしまった。主将就任早々二部練を始め、周囲の者を「さすが主将」とうならせたのはよいが、例のごとく気力はあるが体力はついていかないもので、3日で寝込んでしまった。そのあと一週間、点滴と合コンしていたという。彼はその昔ヤンキーだったという噂もあるが、その名残りか、怒ると非常に恐ろしい。二回生のトドがその怒りにふれて恐ろしい目に合い、体重が激減したということもあった。そんな彼だが、今年は競泳、水球に神大水泳部の顔として、病弱な体にムチ打って気をはいてくれることだろう。それでは、「じゃあな」。

高 岡 英一郎：工 4：蝶：新居浜西高

広い背中に端正なマスク、そこいらへんの女の子なら喜んで寄っていきそうだが、我々は違う。彼のごきげん次第では無条件に不意のパンチをくり出してくるからだ。常に口もとを15度上げ、はにかんだような顔を崩さない彼から、その怒りを察知することは非常に難しい。

例年通り冬の六甲台から姿を消し、私生活でパンチをくり出しているそうだが、たまには我々後輩と遊んで欲しいものである。しかし、夏になればまた復活し、バック面の一角として他校をノックアウトしてくれるだろう。

安居 武彦：法4：水球：西宮高

○月×日、晴れ。今日、やっとボロ合宿がおわった。へとへとになって帰っていると、あれに見えるは安居さん、あ〜んど、Y子さんではないか。腕を組んだ彼らは、僕らの視線を無視して視界から去っていった。

□月△日、同じく晴れ。今日は六甲祭。なんて寒いんだ、と思いきや、あれに見えるは安居さん。あっと、その隣りには、KOBE UNIVERSITY のウインドブレーカーを着た女性が。あ、あれは、いつか見たY子さん。いつまでもお幸せに。

宮下 静子：教4：平：四天王寺高

静かなる子と書いて「ギャー子」と読む。そう、彼女は、その名のとおりうるさい。黒のアスティナをアッシーとする彼女は非常にパワフルだ。そんな彼女にも秘かなファンが発覚した。しかし、その告白は原チャリのブレーキを切ることでしか表現できないらしい。冬には姿を見せない彼女だが、実は外見とは違って病弱で姿を見せることができないというのが本当の所らしい。山脈コンビがいなくなってデカ女の座を不動のものとし、3高（高学歴？高収入！高身長!!）のパワーで今年もがんばってほしいものです。

村本 由里子：営4：自：光丘高

山脈コンビのいなくなった今、彼女の働きは今まで以上、これまで未満である。冬にはあまり六甲台に姿を見せない女子メンの主将の代わりに皆を引っ張り、そのかわいらしい笑顔を我々に見せてくださる。そんな昼の彼女と違って、悪魔の水^{II}酒^{II}をかつ食らった夜の彼女は、ひと味違う。「今日も飲め飲め客の酒、客の倍飲め高い酒！」とテレビでホステスとしてCM出演してしまった、という噂もある。テレビの画面で見かけたら、手をふってあげてください。それらの噂が真実かどうかは知らないが、我々にとっては笑顔のかわいい天使のような先輩なのである。

山口 明子：営4：マネージャー：長崎西高

彼女の名前は「あっちゃん」、上級生ということも忘れて、思わず「あっちゃん」と呼びたくなってしまふ。そんな彼女もあまり練習に来ないので、たまに来ると「あっちゃん、やめたんやなかったん」などと言われてしまふかわいそうな人なのであるが、そんな言葉にもめげず紅茶を入れてくれたり、差し入れをしてくれる水泳部には必要な存在なのである。みんなのつらい言葉の裏には、こんな意味が含まれているのですよ、山口さん。本当かどうか

はわかりませんが。

(3回生)

家門 秀行：理3：平：宝塚北高

彼はよく気が効く、つまり「まめ」なのである。包丁を握らせたら彼の右に出る者はなく、ハンドルを握らせたら彼の左に座る者はない。しかし、その彼にも弱点はある。そう、語学である。昨年度はこの語学のために、こまめに教養に出かける彼を見かけることが多かった。競泳においては、得意の力学をいかし極めて合理的に泳ぐのであるが、今一步タイムが伸びない。水泳以外の事にこまめに手を出しすぎるのである。おかげでイトマンへの往復は大変助かった我々であった。筆者は、今年彼が水泳にはもちろん、車、語学、女と、こまめに活動するのを願って、筆ならぬシャーペンを置く。

下坂 浩：理3：水球：成蹊高

水泳部のわがまま息子である彼も、もう三回生。練習に来ない、たまに来たらメニューに文句をつける。そして、水の上でさぼっている。一方女性関係の方は練習と違って華やかで、精を出しているらしい。今年は、車も手に入れたし、もっとそっちの方面にがんばることだろう。また、酒を飲むと人生を語り出し、涙をホロッと落とすこともよく見られる。そんな彼ではあるが、今年は上回生としての責任を自覚して、練習にも精を出してくれることだろう。神大水泳陣の柱としてがんばって下さい。

P.S. 「勝ちたい」のなら練習に来て下さいよ、下坂さん。

富村 英三：営3：背：明星高

OL泣かせのナンパ師とうたわれた彼も、去年、特定の彼女をつくってしまった。しかしそのことが裏目にでてしまい、もともと病弱の彼は、土曜・日曜のハードなデートで精力を吸い取られてしまい、月曜日の練習にはまず来ないのである。そんな彼も、デートの合理化をはかるため車を買ってしまった。しかし、そのことがまたまた裏目にでて、デートだけでなく、スピード違反の罰金や車のローンをかせぐことにも力を使わねばならなくなり、余計苦境にたたされるハメとなってしまったのである。我々は、夏に日焼けをした彼が元気に泳いでいるのを願ってやまない。

中畑 寛之：教3：自短：豊橋南高

彼は人生経験豊富であり、今では我々から「お父さん」のように慕われている。しかし、そのつらくて長い受験勉強の時に培われた根性と忍耐力は、その温和な顔からは想像できないものである。そんな彼はついに悟りを開き、周りの人間を超越してしまったのだ。テレビや冷蔵庫など、およそ文化的なものとは無縁である彼は、米と水と愛だけで生活しており、神大ランチなどは食したことがないと聞く。競泳においては、若い頃中距離も泳いだそうだ

が、今ではフリーのショートのみである。「これだけは若いもんには負けられん」と言っている彼であるから、今年もその腕の回転をより速くして、周りのコースの者を圧倒するであろう。

西 島 淳 一：教3：水球：茨木高

彼は今年一年間のブランクを克服し、晴れて神大水泳部への再入部を果たしたという貴重な体験の持ち主である。練習への出席は、同回生S氏と同様あまりよくないが、水球におけるテクニックは、クラブで1、2を争うテクニシャンである。また、彼は女性関係においてもそのテクニシャンぶりを発揮し、その甘いマスクとしゃべりで数々の女をくどきまわしているらしい。この典型的遊び人の象徴のような彼が、今年水球で大活躍することを陰ながら応援する筆者であった。

藤 本 克 彦：農3：平：畝傍高

彼の名はバリ男。いつも無口であるが、彼が何を思っているかは、その表情を見れば読みとることができる。神大ウインターズの一員でもあり、彼の下宿は寒い心も寒い。そのため心の寒さをまぎらわせるため、三回生でありながら二回生下宿面に同化し、慕われている。そんな彼には、「犬に似ている」という説がある。去年人面犬が多々出没したが、断じて彼ではない。実は彼が犬に似ているのではなく、犬が彼に似ているのである。今年、その野性のパワーで、水球では他校にマークされる名フロッターに、そして競泳では他校有力選手をぶちまかす人になってくれるだろう。

藤 本 博 之：教3：自長：三田学園

昨年冬、宮崎つとむ君の愛車ラングラーを手に入れた彼は、クリスマス前にいきなりあてにげされ、某O外大のN子さんとドライブできず、スキーの誘いを断れば、そのスキー場に彼女が出現し、車を修理に出したために、成人式でも彼女をドライブに誘うことができないう最悪の状態に陥った。しかし、その彼女に手編みのマフラーをもらったという噂もある。などというように、いろいろと話題のつきない彼であるが、今年は「努力と根性」や「たゆまぬ精進」でなく、「パワー・オブ・ラブ」をポリシーにロングで頑張ってくれるでしょう。

魚 住 香 子：マネージャー：神戸女

いつもニコニコ、周りから「キョンキョン」と呼ばれ親しまれている彼女だが、故S本Q氏に似ているというのもまた事実である。ランドセルをしょって長靴をはけば小学生そのものだという気もするが、マイクを持てば、キラキラ目を輝かせ、そのお歌の上手なことと上手なこと、ちょっぴりレディに変身するのだ。何故か、遠く神戸女学院大から神大に足を運び、

好きでやっているとはあまり思えないマネージャー業をたどってこなす彼女は、一体何者だろうか。もっともっと我々に溶け込んで、その正体を現してもらいたいものだ。

中山 祥子：法3：自：豊中高

「あんなあ、あんなあ」と笑顔で彼女は言い寄ってくる。あの官能的肉体には、はかり知れないほどのパワーが秘められて、数少ない女子メンのホープである。みんなには「おかあさん」と呼ばれ、同回生の「お父さん」と共に仲むつまじく生活している。その三回生長老夫婦の彼女に不倫を望む男は数しれない。「おかあさん」と慕われて、神大水泳部に愛をふりまいていて、その八重歯で我々を魅了している小悪魔のような人である。今年も、数少ない女子メンのホープとしてがんばって下さい。

吉元 佳津子：工3：マネージャー：中津南高

ストップウォッチをもっている彼女には誰も話しかけようとしめない。彼女にはオーラがたちこめているからだ。彼女のまじめなマネージャーぶりには周りの者が圧倒され、つい彼女に何か言いつけられると従ってしまう。そんな彼女は、水泳部の影の支配者と恐れられている。毎週月曜日、その目の下の隈をよりひどくさせてクラブにやってくる彼女を見るにつけ「女は強い」と実感する筆者である。これ以上書くと「誰が書いたん？」としつこく詰問されそうなので、ここでやめておくとする。今年もそのパワーを発揮して、水泳部の為がんばってくれるだろう。

上山 敏正：経2：背：清風高

「バックの鬼」と書いて「上山」と読む。またの名をコメオ。彼の好きなものは、後背位とゼニとコメである。彼の得意な後背位（バック）を生かして、競泳ではバック面のエースとなり、私生活では常に何人もの女をはべらしているという。しかし、いつも「ゼニや、ゼニや」と言っている大阪商人そのものの彼ではあるが、何故か点数計算ができず、麻雀では「神様、仏様、上山様」と呪文を唱えればすぐ当たり牌を振ってくれ、ラスになり金を置いてゆく。彼には常に貧乏神がついているのはまされもない事実である。昼メシに弁当箱いっぱい白米を食べる彼に涙したのは私だけではあるまい。去年は、「ゼニ、メシあるところに上山あり」と言われたが、今年も彼の先輩への挨拶は「ごっつぁんです」であろう。

木村 一也：理2：水球：茨木高

オレは、イバ高のキムラさ。水球をやれば得点王&ベストセブン、競泳をやらせれば神大新さ。みんなはオレのことを救世主と呼ぶけど、ほんとはタダのキムQさ。そんな完全無欠のオレでも弱点があるのさ。それは薬局の看板娘のあの子さ。あの子の前ではもうヘロヘロさ。だからファンレターはうけつけないぜ。でも、どーしてもって言うんなら、「イバラ

キ市中央郵便局私書箱9号キムQ^{II}まで送ってくれ。それじゃあ、愛してるぜベイビー!!
（「信じられへん」と叫びながら机を叩いて立ち上がる木村であった……）。

高倉 信之：営2：自：日田高

大胆不敵な言動でしばしばセンセーションをまき起こす彼は二回生随一の、のんびり屋である。しかし、事態がこみ入ったときの、彼の「だあるいなあ」という鶴の一声ならぬトドの一声は、不思議な威圧感を有し、我々は彼にひれ伏してしまうのだった。また彼は、OFFが終わってから田舎の大分へ帰省することによって、トドのつまりが市大戦フルエントリーとなってしまった。その時の彼の声が「フッ、フッ、フルエントリー？」と喜びに満ちていたことは、今でも我々の脳裏に焼き付いて離れない。体重ランキングでトップになり、麻雀、引越し、皮ジャン、銭湯経営、ビデオ、某大マネージャーなど、次々と手を出してはその活動範囲を広げている彼だが、今年は、ダイエットや神大記録の更新に挑戦し、そしてムーミンパパとしてムーミン一家の平和のためにがんばってくれることだろう。

西尾 泰紀：経2：平：滝高

「俺は、BEST GUY になるだがや!!」とはざいていた彼は、今や立派な「ベスト・害」に成長した。突然、町中で菊池桃子を歌い出して白い目で見られたり、小学生を誘拐しようとして失敗し、走って逃げたり、ミニコブの前の崖から転げ落ちたり、飲酒運転&二人乗りで青切符をもらったり、彼女以外の女と遊んでみたり、と、本当にどうしようもない奴である。また、その貧弱な体を「ガリ男」と呼ばれるのを気にしてか、いつも「肉くれー、肉くれー」と言いながら男女構わずすり寄ってくる。秋には、今までの罪を悔い改めるために出家しようとしたが、何を勘違いしたか^{II}「モヒカン^{II}」にしてしまい、ついには親に勘当されてしまった。そんな彼ではあるが、初心者ながら100ブレト傑に入ってしまう素晴らしい力を持っていることを付け加えておこう。

松島 英樹：経2：水球：修道高

6年間男子校で純粋培養された彼は、神戸へ来て女という生物にあっさり撃退され、その傷を長い間引きずっていた。「今日はHAPPY!」と、かつて言っていた彼は、そのころから「不幸じゃ!」と言い始めた。いつもコンパでは、Jさんもおどろく酒豪ぶりを発揮し、ライオン丸もびっくりするほどの凶暴さをあらわす。ベンチ、看板、表札、あげくのはてにはカーネルサンダーまで持って帰る始末。三商では桜の大紋のお世話になり、留置場でくさい飯を食らい、朝帰って来るということまでやってのけた。シーズンが終わり、秋風が身にしみる季節、彼は神大ウィンターズの発足とともに会員となり、「寒い、寒すぎる!」を連発しながらアベックに石を投げつけている。はたして彼の凍てついた心を溶かしてくれる太

陽のような女の人は見つかるのだろうか（いや見つかりはしない）。水球について言えば、シュートだけは速いが、ただそれだけの男である。

山田基洋：経2：自：小松高

今にも、ほふく前進をしそうな体格をした山田二等兵は、部室に入る時の敬礼は欠かしたことがない。平らな所があれば、どこでも逆立ちをし、木を見れば登ってしまう本能を持った彼は、昼間から酒をかつくらい、銭湯でヤっちゃんの背中を流し、天性のものである「下ネタ」を連発するのである。ところで、練習メニューをこなす彼は非常に真面目であり、水中での腕のかきも律儀に最後までかくのである。今やフリー中・長距離面の重要な戦力となった彼が、大好きな「千葉すず」に敗けないようベストをどんどん更新するだろうことは、誰の目にも明らかである。

吉岡晋一：経2：自：芳泉高

1990年春、彼は地球にやってきた。彼の名はガルシア、惑星ガルシアのプリンスである。彼の地球来訪の目的は、ズバリ地球征服。しかし短絡思考の彼は、地球の大部分が水で覆われているのを知ると、何を勘違いしたのか水泳部には行ってしまったのである。

彼のデビューは鮮烈である。彼は京大プールの上を走り、一度飲み込んだビールを泡に変えて吹き出してみせた。

また、彼にとって地球での生活は新鮮だったようだ。彼は金で物が買えるということを知った。しかし、我々のような金銭感覚をもたなかったために、部屋にはコンポやテレビなどのぜいたく品はあっても、食事は小麦粉となってしまったのである。また、彼は原付というものを知った。しかし彼は、交通規則というものを知らなかったために、信号無視、一方通行逆進転倒などを平気でしてしまうのである。しかし、そんな彼が一度もけがをしたことがないという事実、我々は宇宙の七不思議の偉大さに驚かすにはいられないのである。

以上数々の伝説を生みだした彼であるが、今年は、その変な力で、きっと何かをやってくれるであろう。

飯田正子：平：松蔭高

昨春、六甲台プールに出現した松蔭の片割れである彼女は、ボケとつつ込みをわきまえた外見からは想像できないおもしろい女だ。普段は無口に見える彼女だが、一旦しゃべりはじめると、こっちがボケると、きちんとつつ込む。彼女がボケたときつつ込むことを忘れるとききちんとつつ込むようにと説教される。是非彼女と話して、ボケとつつ込みを覚えましょう。また、彼女の豪遊についてもふれておかねばなるまい。アルバイトをしては遊行をし、金を使いまくったあげく親に車をねだる。免許をもっていない彼女は、車がないのに免許をもっ

てもどうしようもない、と思っているらしい。まあ、そんな彼女も今年で最後になるのであろうから、競泳で頑張ってくれるだろう。

上 村 麻由美：背　：松蔭高

ある晴れた昼下がりのことだった。一人の友人を引き連れて松蔭から「彼女」がやってきた。メニューを黙々とこなし、大荒れのコンパでも冷静さを失わない彼女。弱体化しつつある神大女子メンの一人ならよかった、と思ったこともある。その計り知れない奥の深さに畏怖する我々は、秘かに期待を抱くのである。今年こそ、その化けの皮をはがしてやりたいと思うのだが、もしフツ一の女の子だったらどうしよう？

北　知寿子：蝶　：四条暁高

見かけはかわいらしい女の子だが、見かけにだまされちゃいけないな。なんともまあ速く泳いでるではないか。しかも、K南さんと同じ練習を。そう、彼女はインハイ泳者なんだった。K、Kくんとの関係も噂されているが、本当の所はどうなんだろう。まあ、何を聞いても、あのボケた調子で「そんなことありませんよっ〜」と言われるだけだろう。そんな彼女も神大競泳陣の刺激剤としてがんばってほしい。そして神大水球陣の運命を握っていると言っても過言ではあるまい。



1990年度 活動報告

昨年度の関ポロ優勝候補に挙がりながら、まさかの5位、関カレ2部降格、全国国公立10位と、主要な試合でことごとく敗退し、とどめをさすかの様に競泳・水球の主力選手の引退。この穴を埋めるべくシーズンオフは、イトマンでの週5日間の競泳、六甲台での同じく週5日間の陸トレと、順調とは言えないまでも例年にない密度の濃さの練習をこなし、3月下旬にはOB金氏の指導の下、春合宿で泳ぎ込みをすませ、4月には水球の即戦力新人が加入し、5月には東京へ水球遠征に出かけ、去年のレギュラー0人という若いチームに経験を積ませた。

今シーズンは関ポロ優勝、関カレ一部復帰を大きな目標にして夏に向った。

(当麻 記)

3月下旬	春季合宿	京都府レイク・フォレスト・リゾート
4月28日	新入生歓迎コンバ	六甲台生協食堂
5月13.20日	関ポロオープン戦	大阪市大プール(13) 京都大学プール(20)
5月19日	凌泳総会	六甲台教官食堂
6月3日	京阪神三大学戦	同志社大学プール
6月9.10.23.24日	関西学生水球リーグ戦	大阪市大プール
7月1日	兵庫県学生選手権	王子プール
7月14.15日	関西国公立戦	大阪府大プール
7月22日	旧三高大戦	一橋大学小平プール
7月28.29.30日	関西学生選手権	大阪プール
8月9.10日	全国国公立大会	松任総合運動公園水泳プール(石川県)
8月18日	対大阪市立大戦	大阪市大プール
8月22.23日	近畿国立大学体育大会	和歌山県営大新公園水泳場
8月下旬	日本学生選手権(水球)	日本体育大学健志台プール
9月8.9日	関西学生水球リーグJr.戦	京都大学プール
9月15日	月見の宴	六甲台プール
11月10.11日	六甲祭	
12月8日	追い出しコンバ	六甲台生協食堂
1月6日	初泳ぎ	県立健康センター

京 阪 神 三 大 学 戦

1990年6月3日。京阪神三大学戦は、ぬけるような青空のもと同志社の田辺プールで行われた。田舎出身の私は、多少の田舎ならビクともしないが、田辺には驚いた。未文化の田舎に文化の殿堂・同志社があるなんて。

ところで、競泳の試合がおこなわれたが、私にとっては初試合であった。飛び込んで、ラクラクゴールして、ガクガクだった。これで私も神大水泳部員と成り得た気がした。結果のほうといえば、諸先輩方の活躍のおかげで優勝を勝ちとることができた。

(西尾 記)

★京阪神三大学対抗水上競技大会 平成2年6月3日(日) 於 同志社大学プール(50m)

• 50m 自由形

中畑 26-4 (1位)
木村 27-3 (2位)
中川 29-5 (5位)

• 200m バタフライ

高倉 2-55-6 (3位)
高岡 2-56-4 (4位)

• 400m メドレーリレー

井上、笠田、当麻、井上(聡)
(達) 4-33-4 (2位)

• 100m 自由形

井上(聡) 1-01-4 (1位)
山田 1-04-5 (4位)
安居 1-06-4 (6位)

• 200m 背泳

井上(達) 2-35-5 (1位)
上山 2-38-5 (2位)
富村 2-47-8 (5位)

• 800m リレー

当麻、東、藤本(博)、井上(聡)
9-10-0 (2位)

• 400m 自由形

当麻 4-49-3 (3位)
藤本(博) 4-52-5 (4位)

• 200m 平泳

笠田 2-49-7 (1位)
藤本(克) 2-52-8 (2位)
三宅 3-17-7 (5位)

• 総 合

1位 神戸大 98点
2位 京都大 90点
3位 大阪大 38点

• 800m 自由形

藤本(博) 10-14-7 (2位)
染谷 11-03-1 (5位)
山田 11-26-4

• 200m 個人メドレー

東 2-27-5 (1位)
藤本(克) 2-36-1 (3位)
中畑 2-41-0 (4位)

関 ポ ロ

チームは、いい状態に仕上がっていた。今年から始まったオープンリーグでの予想以上の出来に、一層士気も高まった。そんな追い風のもとで関ポロが始まった。

ところが、初戦、第二戦と接戦をものにならず、出鼻をくじかれる形となり、いきなりあとがなくなってしまう。その日の解散前の金コーチの檄が身に沁みた。

翌日、京大戦。劇的な試合になった。前年からの悔し涙が喜びの涙にかわった。

関西選手権をはさんで二週間後、土曜日は三試合という超ハードな組合せだった。苦戦が予想された立命戦は前半、接戦になったが後半つきはなした。

最終日、関学戦もラスト1秒までもつれる大接戦となった。

接戦が多かっただけに得るものが多く、このリーグ戦を通過点としてインカレに向けて再スタートを切った。

前年度の関ポロからの1年間で最も成長したチームが神戸大だった、と私は思う。自画自賛になるが、それはもちろん、1回生から4回生まで全員がよくまとまって目標に進んだからであるが、それ以上に弱体チームに愛想をつかさずに指導して下さった金コーチ、原田コーチをはじめOB諸兄の御協力によるところが大きいことを信じ、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

(笠田 記)

★関西学生水球リーグ戦

平成2年 6月9日(土), 10日(日), 23日(土), 24日(日) 於 大阪市立大学プール

神戸大	Q	大阪大
2	1	3
4	2	4
2	3	1
2	4	5
10	計	13

1 笠田	6 松島 (1)	11 青木
2 柴田 (5)	7 東 (1)	12 安居
3 下坂 (1)	8 藤本(克)	13 城
4 当麻	9 木村 (2)	
5 井上(達)	10 染谷	

神戸大	Q	大阪市立大
4	1	4
2	2	5
4	3	1
1	4	4
12	計	14

1 笠田	6 松島 (2)	11 青木
2 柴田 (1)	7 東 (6)	12 安居
3 下坂	8 藤本(克)	13 富村
4 当麻 (1)	9 木村 (2)	
5 井上(達)	10 染谷	

神戸大	Q	京都大
4	1	1
2	2	2
1	3	1
3	4	5
10	計	9

- | | | |
|----------|----------|-------|
| 1 笠田 | 6 松島 (1) | 11 青木 |
| 2 柴田 | 7 東 (2) | 12 安居 |
| 3 下坂 | 8 藤本(克) | 13 一越 |
| 4 当麻 (2) | 9 木村 (5) | |
| 5 井上(達) | 10 染谷 | |

神戸大	Q	府立高専
2	1	1
4	2	0
4	3	0
4	4	0
14	計	1

- | | | |
|----------|------------|-------|
| 1 笠田 | 6 松島 (3) | 11 青木 |
| 2 柴田 | 7 東 (3) | 12 安居 |
| 3 下坂 | 8 藤本(克)(3) | 13 一越 |
| 4 当麻 (2) | 9 木村 (4) | |
| 5 井上(達) | 10 染谷 (1) | |

神戸大	Q	京都教育大
7	1	1
6	2	0
9	3	0
8	4	1
30	計	2

- | | | |
|------------|----------|-------|
| 1 笠田 | 6 松島 (1) | 11 青木 |
| 2 柴田 (3) | 7 東 (5) | 12 安居 |
| 3 下坂 | 8 藤本(克) | 13 中畑 |
| 4 当麻 (4) | 9 木村 (4) | |
| 5 井上(達)(3) | 10 染谷 | |

神戸大	Q	立命館大
1	1	1
2	2	2
4	3	2
4	4	1
11	計	6

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1 笠田 | 6 井上 | 11 当麻 (2) |
| 2 中畑 | 7 松島 | 12 東 (3) |
| 3 藤本(克) | 8 下坂 | 13 柴田 (1) |
| 4 安居 | 9 木村 (5) | |
| 5 染谷 | 10 青木 | |

神戸大	Q	関西学院大
2	1	2
1	2	2
2	3	2
2	4	0
7	計	6

- | | | |
|----------|----------|-------|
| 1 笠田 | 6 松島 (1) | 11 青木 |
| 2 柴田 (1) | 7 東 (3) | 12 安居 |
| 3 下坂 | 8 藤本(克) | 13 中畑 |
| 4 当麻 | 9 木村 (2) | |
| 5 井上(達) | 10 染谷 | |

- 総合
- | | | | |
|-----------|--------|---------------|--------|
| 1位 大阪大学 | 7勝 | 5位 関西学院大学 | 3勝3敗1分 |
| 2位 神戸大学 | 5勝2敗 | 6位 立命館大学 | 2勝5敗 |
| 3位 大阪市立大学 | 5勝2敗 | 7位 大阪府立高等専門学校 | 1勝6敗 |
| 4位 京都大学 | 4勝2敗1分 | 8位 京都教育大学 | 7敗 |

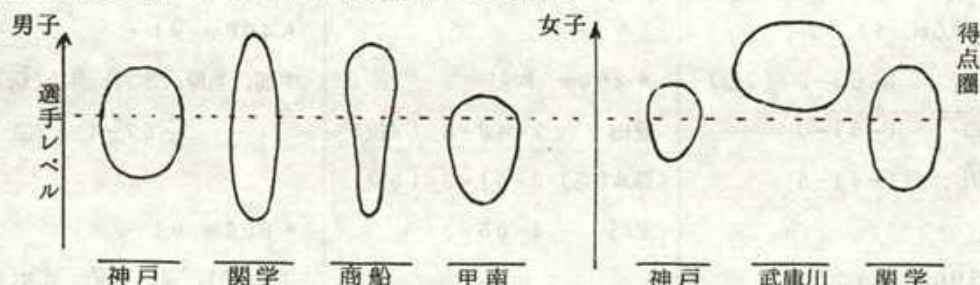
「必ず最後に神戸は勝つ」

兵庫インカレ

今年の兵庫インカレは、例年のおんぼろ西代プールではなくて、ユニバ水球会場としても使われた結構キレイな王子プールにて行われた。

ここ3年間は勝ち越しているわけであるが、戦力的にみて今年は決して楽観視出来るものではない。優勝争いに加わるであろうのは、男子では関学、商船、そして神大の3校、女子では今年も武庫川の圧倒、と思われた。

各校の戦力分析としては、次の様な図式が考えられた。



しかし蓋を開けてみると、男子では予想外に甲南勢がエントリーに頭を使ったらしく、小さい点を稼いで優勝争いに加わった。そして…何と我が神戸大は、伏兵甲南に敗れ去ってしまった。「そんなバカな」、神大の優秀なマネージャー陣は、何度も何度も計算をやり直した。神大ベンチには「やっぱり計算まちがい?」「いや、これであってる」、様々なデマが流れ、混乱した。

そして閉会式。「優勝・甲南大学」のアナウンスに我が神大の面々は涙をのんだのである。我々には暗いコンパが待っていた。

ところが……数日後、やっぱり計算がおかしい事が判明した。「なーんや、やっぱり優勝やんか」我々は安堵した。しかし、しかしだ。2位のアナウンスを、素直にではないにしろ受け入れられた我々に問題はないのか? 「こういう事もありうるさ」という気持ちが自分の中に、そして恐らく多くの部員の中に存在した事を反省せなあかんのちゃうんか「神戸は勝つ」この気持ちを、はったりでもええから持ち続けて下さい。女子についてはあまり触れませんでした。ととにかく部員の確保を。

(井上(達)記)

★ 兵庫県学生選手権水泳競技大会 平成2年7月1日 於 王子プール (50m)

[男子]

● 50m 自由形

中畑	26-4	(1位)
木村	26-8	(4位)
下坂	28-6	

● 100m 自由形

中畑	59-7	(3位)
井上(聡)	1-00-1	(5位)

● 200m 自由形

井上(聡)	2-14-4	(3位)
高倉	2-21-1	
染谷	2-23-5	

● 400m 自由形

藤本(博) 4-50-0 (4位)
高倉 4-59-8
山田 5-06-2

● 1500m 自由形

藤本(博) 19-01-8
山田 22-57-5

● 100m バタフライ

当麻 1-03-5 (2位)
高岡 1-07-0
中川 1-41-5

● 200m バタフライ

当麻 2-25-2 (1位)
高岡 2-39-8 (3位)

● 100m 背泳

井上(達) 1-09-0 (5位)
浅川 1-11-4 (6位)
上山 1-13-1

● 200m 背泳

井上(達) 2-33-0 (4位)
浅川 2-38-4
上山 2-43-0

● 100m 平泳

笠田 1-16-9 (5位)
松島 1-19-6
三宅 1-29-6

● 200m 平泳

笠田 2-48-8 (4位)
藤本(克) 2-51-6 (5位)
家門 3-05-3

● 200m 個人メドレー

東 2-23-1 (1位)
青木 2-47-1 (6位)
富村 2-51-7

● 400m 個人メドレー

東 5-17-4 (2位)
藤本(克) 5-34-4 (5位)
青木 6-00-5

● 400m メドレーリレー

井上(達)、笠田、当麻、東
4-28-4 (2位)

● 400m リレー

中畑、当麻、木村、井上(聡)
3-57-4 (2位)

● 800m リレー

井上(聡)、東、当麻、藤本(博)
9-03-9 (4位)

● 総合

1位 神戸大学 86点
2位 甲南大学 84点
3位 関西学院大学 74点
4位 神戸商船大学 73点
5位 神戸市外国語大学 12点
6位 姫路独協大学 10点

〔女子〕

● 50m 自由形

宮下 33-9 (6位)
中山 38-3
中尾 39-8

● 100m 自由形

井上(優) 1-14-1 (5位)
中尾 1-27-7
村本 1-27-8

● 200m 自由形

井上(優) 2-47-2 (4位)
村本 3-20-9

- 400m 自由形
中山 6-43-5 (5位)
- 100m 背泳
寛 1-24-9 (4位)
- 200m 背泳
寛 3-04-5 (5位)
- 400m メドレーリレー
寛、宮下、中山、井上(優)
6-03-1 (3位)

- 200m リレー
宮下、中尾、寛、井上(優)
2-21-2 (3位)
- 400m リレー
宮下、中山、寛、井上(優)
5-20-3 (3位)

- 総合
- 1位 武庫川女子大学
- 2位 関西学院大学
- 3位 神戸大学
- 4位 神戸商船大学
- 5位 神戸女子薬科大学
- 6位 神戸女子大学
松蔭女子大学

関西国公立戦

今年こそ、と臨んだ関西国公立であったが、第1日目を終えたとき京大に24点差を開けられた2位さらに神船に同点に並ばれ、府大にもたった2点差と、もうあとがない状態で迎えた2日目も我が神大の得点は伸びず、8継を残した時点で神船に6点、府大に2点差の4位と、全国国公立の団体出場権を得るための3位になるためには最後の8継で勝つしかなかった。しかし、結果はやはり京大には及ばず2位、そして府大が3位にはいったため総合でも4位のままとなり、指定席の2位どころか3位にもなれず惨めな結果に終わってしまった。

全種目で得点を上げていながらこのような結果に終わってしまったのは、やはり切札不足ということがあるだろう。100Fr, 100Ba における決勝に3人残りながら、獲得できた得点が1点ということが一番よく表しているが、高得点を得た種目が少なかった、ということが敗因であり、これからの我々の課題であるといえるだろう。

(井上(聡) 記)

★ 関西国公立大学水泳競技大会 平成2年 7月14(土), 15(日)日 於 大阪府立大プール
(男子)

- 50m 自由形
中畑 (予) 26-5
(決) 26-5 (3位)
- 木村 (予) 27-1
(決) 26-7 (5位)
- 下坂 28-4

- 100m 自由形
木村 (予) 59-2
(決) 59-5 (6位)
- 井上 (予) 59-9
(聡) (決) 1-00-3 (7位)
- 中畑 (予) 59-9
(決) 1-00-3 (7位)

- 200m 自由形
井上 (予) 2-17-0
(聡) (決) 2-14-7 (4位)
- 藤本 (予) 2-18-2
(博) (決) 2-15-7 (6位)
- 山田 2-20-5

● 400m 自由形

藤本(予)4-52-0
(博)
(決)4-47-4 (3位)

山田 4-59-7

高倉 5-10-5

● 100m バタフライ

当麻(予)1-06-0
(決)1-04-7 (5位)

高岡 1-07-0

● 200m バタフライ

高岡(予)2-35-9
(決)2-33-1 (6位)

高倉(予)2-39-8

(決)2-40-7

● 100m 背泳

井上(予)1-11-4
(達)
(決)1-09-6 (6位)

上山(予)1-11-4
(決)1-12-6 (8位)

浅川(予)1-11-0

(決)失格

● 200m 背泳

井上(予)2-35-6
(達)
(決)2-34-0 (5位)

上山(予)2-36-5

(決)2-38-2

浅川(予)2-36-5

(決)失格ターン

● 100m 平泳

笠田(予)1-17-5
(決)1-16-0 (4位)

藤本(予)1-18-2
(克)
(決)1-18-0 (9位)

松島 1-20-1

● 200m 平泳

笠田(予)2-46-8
(決)2-47-4 (4位)

藤本(予)2-50-0
(克)
(決)2-48-4 (5位)

西尾 3-04-2

● 200m 個人メドレー

東(予)2-34-9
(決)2-21-6 (2位)

青木(予)2-44-2
(決)2-43-5 (8位)

富村 2-51-1

● 400m 個人メドレー

東(予)5-22-3
(決)5-09-6 (3位)

当麻(予)5-23-7
(決)5-16-2 (5位)

青木 5-50-9

● 400m メドレーリレー

井上(達)、笠田、当麻、東
4-29-5 (4位)

● 400m リレー

中畑、井上(聡)、木村、東
3-56-3 (3位)

● 800m リレー

当麻、藤本(博)、井上(聡)
東
8-49-9 (2位)

● 総合

1位 京都大学 101点
2位 神戸商船大学 54点
3位 大阪府立大学 51点
4位 神戸大学 50点
5位 大阪大学 24点
6位 京都教育大学 15点

〔女子〕

● 50m 自由形

宮下 (予) 32-4

(決) 32-3 (3位)

中尾 38-3

● 100m 自由形

井上 (予) 1-15-3

(優)

(決) 1-12-9 (5位)

村本 1-28-1

中尾 1-32-5

● 200m 自由形

井上 (予) 2-52-6

(優)

(決) 2-44-5 (4位)

中山 3-12-6

村本 3-20-1

● 400m 自由形

中山 6-39-1 (6位)

● 100m 背泳

寛 (予) 1-28-1

(決) 1-24-1 (3位)

● 200m 背泳

寛 (予) 3-06-0

(決) 3-00-0 (4位)

● 100m 平泳

宮下 (予) 1-32-3

(決) 1-31-4 (5位)

● 200m リレー

宮下、井上(優)、寛、中尾

2-19-1

● 400m リレー

宮下、井上(優)、寛、村本

5-17-2

● 総合

1位 京都大学 66点

2位 大阪教育大学 47点

3位 大阪府立大学 46点

4位 京都教育大学 43点

5位 大阪外国語大学 21点

6位 大阪市立大学 20点

7位 神戸大学 19点

旧 三 商 大 戦

今年の三商大戦は、一橋大学小平プールで行われた。競泳の部は予想通りの圧勝であったが、水球の方は、一橋には大敗、市大には辛勝という惨々たる結果に終わった。関ボロで京大を破り少しは自信もつき、一橋にあわよくば勝とうなどと思っていただけに、非常に残念であり、改めて関西の水球の悲しさを思い知らされた。結局は神大が総合優勝したが、あまり満足できるものではなかった。試合の後にはコンパである。あれよあれよという間に、机、テント、自転車、ガルシア etc がプールのもくずと消え、人々は手に手をとって飛び込んだり、上がったりを繰り返していた。私はハメをはずして警察のお世話となり、冷たい留置所の中で、来年こそは……と誓ったのであった。

(松島 記)

＜競泳＞

● 100m 自由形

木村 1-00-2 (3位)

中畑 1-03-04 (4位)

● 400m 自由形

井上(聡) 5-02-1 (1位)

山田 5-11-97 (3位)

● 800m 自由形

藤本(博) 10-05-4 (2位)

高倉 10-59-19 (4位)

● 200m バタフライ

当麻 2-29-2 (1位)

高岡 2-36-36 (2位)

● 200m 背泳

藤本(克) 2-41-69 (1位)

上山 2-46-5 (2位)

● 200m 平泳

笠田 2-48-3 (1位)

家門 3-08-10 (5位)

● 200m 個人メドレー

西尾 3-08-07 (4位)

三宅 3-23-27 (6位)

● 400m メドレーリレー

上山、笠田、当麻、井上(聡)

4-45-43 (1位)

● 800m リレー

東、藤本(博)、井上(聡)

当麻

9-12-22 (1位)

● 総合

1位 神戸大学 77点

2位 大阪市立大学 57点

3位 一橋大学 56点

＜水球＞

神戸大	Q	一橋大
2	1	2
1	2	3
2	3	5
1	4	1
6	計	11

1 笠田	6 松島	11 安居
2 柴田	7 東 (2)	12 中畑
3 下坂	8 藤本(克)(1)	13 一越
4 当麻	9 木村 (3)	
5 青木	10 染谷	

神戸大	Q	大阪市立大
2	1	3
2	2	2
2	3	0
3	4	3
9	計	8

1 笠田	6 松島 (1)	11 安居
2 柴田	7 東 (4)	12 城
3 下坂	8 藤本(克)	13 一越
4 当麻	9 木村 (3)	
5 青木 (1)	10 染谷	

関西インカレ

大阪扇町公園は大阪プール。ここへ何度足を運んだことだろう。小学生時分から毎年必ずここへやって来た。今回が最後だと思うと少々寂しい。

先日の関国で惨敗を喫し、全国国公立戦への切符を失ってしまった我ら神大水泳部。今日の試合に合わせ入念な調整を行い、先日の借りを返すべく気合十分で試合に臨んだ。

レースが始まり、皆気合十分の泳ぎを見せ、ベスト・入賞続出のいいレース展開となった。みな頑張ったが、その中でも特筆すべきは、新入生の新入りらしからぬ活躍であろう。

水球面からの助っ人木村のリレー、個人種目でのエース級の働き、西尾、吉岡の初心者とは思えぬ力泳、大学こそ違うけれど同じ水で練習してきた北のインカレ標準記録目前のぶっちぎり優勝など、他のみんなも合わせて今年の新人達は本当に頼もしいやつらばかりで、引退まぎわの私には本当に心強い。

3日間の日程を終えて総合2位となり、無事一部昇格は果たせた訳であるが、二部落ちの過去あつての一部昇格。あまり手放しでは喜べない。

レースが終り日も暮れて、梅田でおなじみコンパが始まった。試合後の酒は回りが早い。大阪プールへのノスタルジーに浸る間もなくビールの泡に埋もれてゆく元競泳主任であった。

(東記)

★ 関西学生選手権水泳競技大会 平成2年 7月28(土)・29(日)・30(月) 於 大阪プール
〔男子〕

● 50m 自由形

中畑(予) 26-50
(決) 26-39(2位)
木村(予) 27-12
(決) 26-81(5位)
吉岡 30-88

● 100m 自由形

木村(予) 58-81
(決) 58-01(4位)
井上(予) 1-00-18
(総)(決) 59-50(5位)
中畑 1-01-05

● 200m 自由形

当麻(予) 2-14-33
(決) 2-09-76(2位)
井上(予) 2-14-70
(総)(決) 2-13-22(6位)
高倉 2-18-20

● 400m 自由形

当麻(予) 4-45-53
(決) 4-38-29(4位)
藤本(博) 4-54-09
山田 4-59-92

● 1500m 自由形

藤本(博) 19-13-45(4位)
山田 20-12-44
● 100m バタフライ
小南(予) 1-07-02
(決) 1-02-02(3位)
高岡(予) 1-06-72
(決) 1-06-46(6位)
中川 1-36-93

● 200m バタフライ

小南 (予) 2-35-03
(決) 2-18-77 (3位)
高岡 (予) 2-34-04
(決) 2-32-20 (6位)
高倉 (予) 2-38-69
(決) 2-37-63 (7位)

● 100m 背泳

井上 (予) 1-12-14
(達) (決) 1-10-29 (6位)
浅川 (予) 1-11-60
(決) 1-10-88 (8位)
上山 (予) 1-13-23
(決) 1-13-33

● 200m 背泳

井上 (予) 2-34-46
(達) (決) 2-29-92 (6位)
浅川 (予) 2-36-88
(決) 2-35-54 (8位)
上山 (予) 2-37-77
(決) 2-38-60 (9位)

● 100m 平泳

笠田 (予) 1-15-76
(決) 1-14-48 (4位)
西尾 1-20-95
三宅 1-28-81

● 200m 平泳

笠田 (予) 2-42-91
(決) 2-41-94 (3位)
藤本 (予) 2-49-59
(克) (決) 2-47-57 (5位)
家門 3-02-26

● 200m 個人メドレー

東 (予) 2-26-85
(決) 2-20-47 (2位)
藤本 (予) 2-34-33
(克) (決) 2-32-66 (7位)

● 400m 個人メドレー

東 (予) 5-13-18
(決) 5-07-81 (3位)
青木 (予) 5-50-06
(決) 5-47-32 (8位)

● 400m メドレーリレー

井上(達)、笠田、小南、東
4-23-53 (3位)

● 400m リレー

中畑、木村、東、井上(聡)
3-55-51 (2位)

● 800m リレー

当麻、小南、井上(聡)、東
8-47-71 (3位)

● 総合 (男子2部)

1位 京都大学 143点
2位 神戸大学 118点
3位 神戸商船大学 78点
4位 大阪大学 72点
5位 大阪府立大学 64点
6位 大阪商業大学 49点

[女子]

● 100m 自由形

村本 1-24-97

● 400m 自由形

中山 6-38-30 (8位)

● 100m バタフライ

中山 (予) 1-48-86
(決) 1-48-22
村本 2-03-81

● 100m 背泳

箕 (予) 1-33-80
(決) 1-24-59 (3位)

• 200m 背泳
 寛 2-59-30(3位)

• 400m メドレーリレー
 寛、宮下、村本、中山
 6-26-55

• 200m リレー
 宮下、寛、中山、村本
 2-23-87

• 400m リレー
 宮下、寛、中山、村本
 5-27-18

• 総合(女子2部)
 1位 相愛女子短期大学 54点
 2位 京都大学 51点
 3位 大阪府立大学 47点
 4位 関西大学 46点
 5位 大阪市立大学 44点
 6位 大阪外国語大学 37点
 ……
 16位 神戸大学 13点

全国国公立戦

個人出場者4名。淋しい限りだが、個人競技として1つのレースに絞って臨める機会だと気を取り直し、各自の目標の下にそれぞれ調整を行った。結果は、東くんの補欠1での予選落ちを始め、いまひとつ目標に届かないものだった。朝一番のリレー予選がない、チームのノリがない、などと言ってみたが、言い訳にもならない。チームで力を合わせてこそ1人1人の実力以上のものが発揮できるという論理も無責任だろう。甘かった。ただそれだけだ。全国団体出場を逃したチームのメンバー1人1人の姿勢を映していたように思う。二度と味わってはほしくない出来事だ。

最後に、三日間付き添ってくれた山田君、快くお世話して下さいました山田君の御家族の皆さん、本当にありがとうございました。

(寛 記)

★全国国公立大学選手権水泳競技大会

平成2年 8月9日(木)・10日(金) 於 松任総合運動公園水泳プール

〔男子〕

• 50m 自由形
 中畑 26-36

• 400m 自由形
 藤本(博) 4-54-49

• 200m 個人メドレー
 東 2-24-94

〔女子〕

• 100m 背泳
 寛 1-25-23

市 大 戦

今年の市大戦は、8月18日快晴の中、大阪市立大学プールで行われた。この試合だけは、決して遅刻の許されない大会であった。既にフルエントリーが決定している僕にとっては、どうしても遅刻できないはずであった。しかし……。

さて、結果といえば、競泳の方は得点では快勝であったが、8継で負けてしまい、何十年も続いていると言われる神大の総合優勝は水球にかかった。が、しかし、油断していたのであろうか、水球で負けてしまい、ついに総合優勝はなくなってしまった。

試合後のコンパは、例年どおりであったと思われる。

(高倉 記)

★神戸大学・大阪市立大学 対抗水上競技大会 平成2年8月18日(土) 於 大阪市立大学プール

〈競泳〉

● 100m 自由形

木村 59-69(2位)

井上(聡) 1-00-00(4位)

吉岡 1-11-74(6位)

● 200m 背泳

浅川 2-37-5(1位)

富村 2-54-63(2位)

上山 3-02-92(3位)

● 400m メドレーリレー

浅川、藤本(克)、高倉、

井上(聡)

4-49-0(1位)

● 400m 自由形

当麻 4-46-35(1位)

染谷 5-08-46(4位)

中畑 5-21-59(6位)

● 200m 平泳

西尾 2-55-01(1位)

松島 2-55-16(2位)

家門 3-11-31(5位)

● 800m リレー

上山、井上(聡)、高岡、

藤本(博)

9-25-12(2位)

● 800m 自由形

藤本(博) 10-02-11(1位)

山田 10-35-80(3位)

高倉 14-36-47(6位)

● 200m 個人メドレー

藤本(克) 2-42-02(1位)

青木 2-46-74(3位)

中川 3-14-94(6位)

● 総合

1位 神戸大学 98点

2位 大阪市立大学 79点

● 200m バタフライ

当麻 2-24-2(1位)

高岡 2-33-01(2位)

〈水球〉

神戸大	Q	大阪市立大
1	1	1
1	2	4
0	3	3
2	4	2
4	計	10

- | | | |
|------|---------|-------|
| 1 一越 | 6 松島 | 11 城 |
| 2 染谷 | 7 東 | 12 富村 |
| 3 下坂 | 8 藤本(克) | 13 笠田 |
| 4 当麻 | 9 木村 | |
| 5 青木 | 10 安居 | |

近 国 1990

新幹部になって初の公式戦であり、4位に終わった関西国公立戦、悪夢の市大戦と神大の競泳に忍び寄る暗い影を振り払うべく必勝を期して我々は和歌山に乗り込んだ。ホテルは何処？

気の早い颱風が各大学のテントを吹き飛ばし、雨はざんざか大荒れの天気が始まった近国は、私の記憶の彼方へと飛んでしまっている。残っているのは、京大優勝、神大2位という結果と悔しさである。けれども結果は変わらないし、悔しがっていても致し方ない。悔しさから何を産むかである。我々は世界に通用するほどのトップスイマーではないから、練習の工夫・仕方によってまだまだ記録を縮めるチャンスはあるはずである。我々は全員が可能性を秘めたスイマーなのである。日々の練習の中にも自分の課題・目標を持って練習するべきだと生意気な僕は思う。与えられた練習をただこなすのでは無く、自分で一つ一つの練習を考えてこなすことがタイムを縮める事と信じている。

100m自由形で予選落ちした僕には、早速面前にビール1本5セットインターバルという苛酷な練習が待っていた。怖いすぐるコーチに睨まれてこなした僕は、その後の記憶がない……。

また、この大会をもって夫々の競泳生活を一度終えられた4回生の方々、お疲れ様でした。今後も我々神大水泳部にハッパを掛け続けて下さい。

(中畑 記)

★近畿地区国立大学体育大会平成2年8月22日(水)・23日(木) 於 和歌山県営大新公園水泳場

〔男子〕

● 50m 自由形

中畑(予)	26-56
(決)	26-22(2位)
木村(予)	26-84
(決)	26-98(5位)
城	30-28

● 100m 自由形

木村(予)	59-06
(決)	58-42(5位)
井上(予)	59-80
(職)(決)	1-00-46(8位)
中畑	1-00-35

● 200m 自由形

井上(予)	2-14-99
(職)(決)	2-11-68(4位)
染谷	2-23-96
安居	2-26-41

● 400m 自由形

藤本(予)4-49-33
(博) (決)4-43-92(5位)

一越 6-10-19

吉岡 6-11-70

● 800m 自由形

藤本(予)10-01-83
(博) (決)9-52-01(2位)

山田(予)10-27-60
(決)10-24-70(7位)

高倉(予)10-46-10
(決)10-44-62(9位)

● 100m バタフライ

小南(予)1-03-90
(決)1-01-98(3位)

高岡(予)1-06-18
(決)1-05-09(7位)

● 200m バタフライ

小南(予)2-29-21
(決)2-19-07(4位)

高岡(予)2-30-27
(決)2-28-43(5位)

高倉 2-41-59

● 100m 背泳

井上(予)1-12-35
(達) (決)1-10-31(5位)

富村 1-18-40

上山 失格 タッチ不良

● 200m 背泳

浅川(予)2-38-85
(決)2-36-00(6位)

上山(予)2-40-52
(決)2-38-77(8位)

富村 2-48-08

● 100m 平泳

笠田(予)1-15-88
(決)1-14-77(3位)

西尾(予)1-17-54
(決)1-16-79(7位)

松島 1-19-18

● 200m 平泳

笠田(予)2-47-92
(決)2-41-80(3位)

藤本(予)2-52-06
(克) (決)2-50-63(7位)

● 200m 個人メドレー

当麻(予)2-34-89
(決)2-25-83(4位)

青木(予)2-42-28
(決)2-42-29(9位)

西尾 3-04-47

● 400m 個人メドレー

東(予)5-22-41
(決)5-10-22(4位)

当麻(予)5-23-55
(決)5-13-45(6位)

藤本(予)5-32-47
(克) (決)5-31-03(8位)

● 400m メドレーリレー

(予) 浅川、藤本(克)、小南
井上(聡)

4-36-72

(決) 井上(達)、笠田、小南
井上(聡)

4-25-87(4位)

● 200m リレー

(予) 上山、東、木村、中畑
1-47-46

(決) 東、中畑、木村、当麻
1-44-48(1位)

● 800m リレー

(予) 井上(聡)、山田、東
藤本(博)

9-07-99

(決) 当麻、井上(聡)、小南
東 8-47-86(3位)

● 総合

1位	京都大学	103点
2位	神戸大学	60点
3位	神戸商船大学	59点
4位	大阪大学	42点
5位	滋賀大学	29点
6位	京都教育大学	28点

〔女子〕

● 100m 自由形

中山 1-22-69

村本 1-25-09

● 200m 自由形

村本 3-15-24

● 400m 自由形

中山 (予) 6-37-93

(決) 6-33-00 (8位)

● 100m 背泳

寛 (予) 1-30-94

(決) 1-23-81 (2位)

● 200m 背泳

寛 (予) 3-09-04

(決) 3-00-21 (4位)

● 100m 平泳

宮下 (予) 1-34-97

(決) 1-30-57 (4位)

● 200m 平泳

宮下 (予) 3-26-62

(決) 3-21-03 (5位)

● 400m メドレーリレー

(予) 寛、宮下、中山、村本

6-13-31

(決) 寛、宮下、中山、村本

6-09-24 (7位)

● 200m リレー

(予) 宮下、寛、中山、村本

2-25-02

(決) 宮下、寛、中山、村本

2-23-91 (7位)

● 400m リレー

(予) 宮下、寛、中山、村本

5-29-97

(決) 宮下、中山、村本、寛

5-25-22 (6位)

● 総合

1位 大阪教育大学 64点

2位 京都大学 52点

3位 京都教育大学 48点

4位 大阪外国語大学 37点

5位 滋賀大学 28点

6位 兵庫教育大学 27点

7位 神戸大学 13点

日本学生選手権(水球)

不安である。不安が最高潮に達している。新幹線の中である。旅費は40000円也。これを1Qや2Qのためだけに使うのは、あまりにもったいない。そんな事ばかり考えている。目の前で阪大が日体大に1Qでコールドされた。言葉を発する者はだれもいない。入学して2回のインカレがあったが、4Q戦った事はない。今度の相手も一部の明治である。インカレに来れる事自体、大変うれしいのだが、毎年、この不安にかられる。

Gameが始まった。予想通りである。しかし、ある瞬間1点を獲得した。私だけかも知れないが、

この瞬間、緊張がほぐれて水球が楽しかった。この結果、試合を最後までする事ができた。最後の最後で、最高の試合ができた。スコアはひどいものだが、不屈き者と言われようと、何と言われようと、神大水球チームにおいて最高の試合であったと断言したい。

(柴田記)

★全日本学生選手権

平成2年8月27～31日 於 日本体育大学健志台プール

神 戸 大	Q	明 治 大
1	1	6
3	2	4
1	3	4
0	4	4
5	計	18

1 笠 田	6 松 島 (1)	11 安 居
2 柴 田	7 東 (2)	12 中 畑
3 下 坂 (1)	8 染 谷	13 一 越
4 当 麻	9 木 村 (1)	
5 青 木	10 藤本(克)	

関 ポ ロ Jr.

9対9で迎えた延長戦後半、残り時間あと10数秒。ボールは自陣ゴール前の大群の中だ。あっ、塊りの中から1人飛び出した。シュートだ!! ひっして飛びつく。しかしボールは腕にかすることもなく、顔面直撃することもなくゴールネットにつきささった。あー、やられたあー。水中でもブルサイドでも、京大が大騒ぎだ。そしてゲーム終了のピストルが鳴った。

我々は関ポロにおける勝利で京大コンプレックスを完全に捨て去り、意気揚々としてのぞんだ京大戦であった。しかし熱戦もむなしく、再び屈辱の敗退である。歴代の先輩が繰り返して来た事をまた繰り返す、あまりの愚かさ。人間は考える輩だなんて誰が言ったのだろう。

例によって例の通り反省する。敗因は、キーパーの未熟さだろうか、フィールドの泳力不足だろうか、大舞台に弱い事だろうか。もっと根本的な事かもしれない。とりあえず解った事は、欠点を隠して試合をするのは無理だということである。我々4回生に残されたチャンスはあと1回しかない。皆平静さを装いながらも、きっと胸の内ではそれぞれ熱い闘志を燃やしていることだろう。

最後になりましたが、誌面を借りてチーム作りにも多大な御協力をいただいた原田さん、我々を応援して下さったOBの皆様へ御礼を申し上げます。

余談ではあるが、京大プールは我が六甲台プールと同じく、きたない、臭い、冷たいの三拍子揃っ

たプールであり、その環境に慣れ親しんだ我々は、動揺していた高専、ヤル気の失せていた阪大に、
 かりうじて勝利を収めることができた事を報告しておきます。

(一越 記)

★関西学生 Jr 水球選手権

平成2年9月8日(土)・9日(日) 於 京都大学プール

神戸大	Q	府立高専
4	1	1
3	2	1
3	3	2
2	4	2
12	計	6

- | | | |
|---------|----------|-------------|
| 1 一越 | 6 中畑 | 11 上山 |
| 2 染谷(2) | 7 松島 | 12 藤本(克)(4) |
| 3 下坂 | 8 富村 | 13 山田 |
| 4 城 | 9 木村(5) | |
| 5 安居 | 10 青木(1) | |

神戸大	Q	大阪大
5	1	2
2	2	2
2	3	1
2	4	3
11	計	8

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 一越 | 6 中畑 | 11 上山 |
| 2 染谷(2) | 7 松島(4) | 12 藤本(克) |
| 3 下坂 | 8 富村 | 13 山田 |
| 4 城 | 9 木村(4) | |
| 5 安居 | 10 青木 | |

神戸大	Q	京都大
0	1	0
2	2	2
	3	
	4	
7	計	7
延長戦 2 - 3 (2Q)		
9	計	10

- | | | |
|------|-------|----------|
| 1 一越 | 6 中畑 | 11 西尾 |
| 2 染谷 | 7 松島 | 12 藤本(克) |
| 3 下坂 | 8 富村 | 13 吉岡 |
| 4 城 | 9 木村 | |
| 5 安居 | 10 青木 | |

現 役 自 己 べ

	自 由 形					
	50m	100m	200m	400m	800m	1500m
〈男子の部〉						
青木浩介						
一越健治		1-13-7				
井上 聡	27-1	58-9	2-10-6	4-46-6		
小南裕明						
城 一男	30-4	1-08-4				
染谷光裕		1-03-2		5-08-46		
高岡英一郎						
安居武彦		1-05-4	2-26-4			
家門秀行						
下坂 浩	28-4	1-07-1				
富村英三						
中畑寛之	26-22	59-6				
西島淳一		1-11-3				
藤本克彦						
藤本博之				4-43-9	9-52-1	19-01-6
上山敏正	27-3					
木村一也	26-6	58-01				
高倉信之			2-18-20	4-59-8	10-44-62	
西尾泰紀						
松島英樹						
山田基洋		1-04-5	2-20-5	4-57-23	10-24-70	20-12-44
吉岡晋一	30-8	1-11-7		6-11-7		
〈女子の部〉						
宮下静子	31-8	1-12-3				
村本由里子		1-24-97	3-15-42			
中山祥子	37-9	1-21-0	3-05-0	6-18-1		
飯田正子		1-10-2				
上村麻由美						
北 知寿子						

ス ト ー 覧 表

バタフライ		背 泳		平 泳		個人メドレー	
100m	200m	100m	200m	100m	200m	200m	400m
						2-42-4	5-47-32
<u>1-01-4</u>	<u>2-17-0</u>						
<u>1-05-0</u>	<u>2-27-3</u>						
				<u>1-23-0</u>	<u>3-02-2</u>		
		1-15-7	<u>2-47-8</u>			<u>2-48-6</u>	
						2-39-2	
				1-17-7	2-46-6	2-32-6	
		1-09-7	<u>2-36-5</u>				
	<u>2-37-63</u>						
				<u>1-16-6</u>	<u>2-52-6</u>		
				1-18-7	<u>2-55-1</u>		
						3-05-1	
1-21-8				<u>1-27-5</u>	<u>3-12-6</u>	2-55-2	
<u>1-48-6</u>							
				<u>1-27-1</u>			
		<u>1-26-4</u>	<u>3-08-7</u>				
<u>1-10-4</u>	<u>2-37-5</u>						

歴代 10 傑表

〈男子〉

● 100m 自由形

1	後呂 忠詳	56-7(S)	S. 61
		58-0(L)	62
2	川原田 貢	57-1(S)	57
		57-3(L)	59
3	東 圭紀	57-3(S)	63
4	木村 一也	58-01(L)	H. 2
5	金 一波	58-6(S)	S. 56
		58-9(L)	57
6	浜川 広海	58-8	26
	杉山 和広	58-8(S)	53
8	吉田不二彦	58-9(S)	59
		59-8(L)	59
	井上 聡	58-9(L)	H. 1
10	浜田 昌己	59-2(S)	S. 61
	奥村 直樹	59-2(S)	62
		59-7(L)	62

● 400m 自由形

1	古谷 拓裕	4-36-0(L)	S. 63
2	久保田勝己	4-37-4(L)	58
3	当麻 尚正	4-38-2(L)	H. 2
4	藤本 博之	4-43-9(L)	2
5	井上 聡	4-46-6(S)	1
6	川原田 貢	4-46-9(S)	S. 57
7	近藤 直明	4-49-7(S)	62
		4-54-0(L)	61
8	浦野 敏明	4-53-1(S)	59
		5-00-9(L)	58
9	中川 善雄	4-54-0(L)	60
10	上田 剛弘	4-54-3(S)	55
		5-02-8(L)	55

● 200m 自由形

1	川原田 貢	2-07-5(L)	S. 59
2	久保田勝己	2-08-5(S)	58
3	浜川 広海	2-09-0	26
4	当麻 尚正	2-09-0(S)	H. 2
5	後呂 忠詳	2-10-2(S)	S. 62
6	井上 聡	2-10-6(L)	H. 1
7	古谷 拓裕	2-10-7(L)	S. 62
8	東 圭紀	2-10-9(S)	62
		2-11-4(L)	62
9	郡 幸雄	2-12-4(S)	62
10	金 一波	2-13-8(S)	57
		2-16-5(L)	56

● 800m 自由形

1	古谷 拓裕	9-36-8(L)	S. 63
2	藤本 博之	9-44-5(S)	H. 1
		9-52-0(L)	2
3	久保田勝己	9-47-4(S)	S. 56
		9-49-0(L)	57
4	近藤 直明	10-11-7(L)	60
5	中川 善雄	10-19-2(S)	60
		10-25-0(L)	60
6	山本 隆	10-22-1(S)	53
7	山田 基洋	10-24-7(L)	H. 2
8	上田 剛弘	10-26-4(S)	S. 51
9	浦野 敏明	10-33-2(L)	57
10	丸末 一之	10-36-3	51

● 1500m 自由形

1	古谷 拓裕	18-28-5(L)	S.63
2	久保田勝己	18-37-5(L)	58
3	藤本 博之	19-01-6(L)	H. 2
4	近藤 直明	19-20-1(L)	S.62
5	岡崎 憲之	20-01-(L)	H. 1
6	中川 善雄	20-07-0(L)	S.60
7	浦野 敏明	20-08-3(L)	57
8	山田 基洋	20-12-44(L)	H. 2
9	松野 圭悟	20-31-4(L)	S.57
10	上田 剛弘	20-40-0(L)	55

● 100m バタフライ

1	小南 裕明	1-01-4(L)	S.63
2	当麻 尚正	1-03-5(L)	H. 2
3	吉岡 宏之	1-04-0(L)	S.58
	坂田 純孝	1-04-0(L)	59
5	佐敷 定雄	1-04-8(L)	48
6	郡 幸雄	1-05-0(L)	60
	高岡英一郎	1-05-0(L)	H. 1
8	東 圭紀	1-06-5(S)	S.62
9	山本 隆	1-07-4(S)	54
		1-08-4(L)	53
10	古谷 拓裕	1-07-6(S)	62

● 200m バタフライ

1	小南 裕明	2-17-0(L)	S.63
2	当麻 尚正	2-24-2(L)	H. 2
3	郡 幸雄	2-24-6(L)	S.60
4	坂田 純孝	2-26-6(L)	59
5	高岡英一郎	2-27-3(L)	H. 1
6	佐敷 定雄	2-29-6	S.48
7	吉岡 宏之	2-34-0(S)	57
		2-35-9(L)	58
8	岡崎 憲之	2-34-6(L)	62
9	山本 隆	2-35-2(S)	53
		2-36-9(L)	53
10	浦野 敏明	2-35-6(L)	56

● 100m 背泳

1	徳永 守	1-06-2(S)	S.62
		1-07-9(L)	60
2	小笠原朝隆	1-06-6(L)	63
3	杉山 和弘	1-07-7(S)	53
		1-08-4(L)	53
4	吉田不二彦	1-08-6(L)	59
	井上 達晃	1-08-6(L)	H. 1
6	坂田 純孝	1-08-7(S)	S.58
7	川原田 貢	1-09-6(S)	59
8	上山 敏正	1-09-7(S)	H. 2
		1-11-4(L)	2
9	浅川 明弘	1-10-3(S)	S.62
		1-10-5(L)	H. 2
10	太田 雅彦	1-10-9(S)	S.56

● 200m 背泳

1	小笠原朝隆	2-26-2(L)	S.63
2	井上 達晃	2-26-8(L)	63
3	徳永 守	2-29-7(L)	60
4	坂田 純孝	2-30-4(S)	56
5	吉田不二彦	2-31-2(S)	58
6	杉山 和弘	2-34-1(S)	54
		2-34-2(L)	53
7	木村多加緒	2-34-8(S)	43
		2-37-0(L)	43
8	酒井 正人	2-35-2(S)	52
9	浅川 明弘	2-35-5(L)	H. 2
10	上山 敏正	2-36-5(L)	2

● 100m 平泳

1	後呂 忠詳	1-10-5(L)	S. 61
2	林 均	1-12-9(S)	62
		1-13-3(L)	H. 1
3	長崎 真人	1-13-6(S)	S. 57
		1-14-0(L)	58
4	笠田 幸介	1-13-3(S)	H. 2
		1-14-4(L)	1
5	鈴木 俊彦	1-14-2(S)	S. 42
		1-14-7(L)	42
6	慈幸 弘樹	1-15-3(S)	53
		1-16-8(L)	53
7	浦野 敏明	1-15-6(S)	58
8	守沖 敦	1-16-4(L)	63
9	池辺 正雄	1-16-5(L)	56
10	西尾 泰紀	1-16-6(L)	H. 2

● 200m 個人メドレー

1	東 圭紀	2-20-47(L)	H. 2
2	当麻 尚正	2-25-8(L)	2
3	浦野 敏明	2-29-5(L)	S. 59
4	後呂 忠詳	2-31-0(L)	60
5	藤本 克彦	2-32-6(L)	H. 2
6	原田久富美	2-32-7(L)	S. 60
	小笠原朝隆	2-32-7(L)	63
8	慈幸 弘樹	2-33-0(S)	52
		2-35-6(L)	53
9	古谷 拓裕	2-33-2(L)	61
10	坂田 純孝	2-34-0(L)	58

● 200m 平泳

1	後呂 忠詳	2-37-9(L)	S. 60
2	長崎 真人	2-40-5(L)	58
3	笠田 幸介	2-41-8(L)	H. 2
4	林 均	2-43-6(L)	1
5	平石 康	2-45-3(S)	S. 52
6	鈴木 俊彦	2-45-5	43
7	有利 英明	2-45-6	62
8	藤本 克彦	2-46-6(L)	H. 1
9	慈幸 弘樹	2-49-2(S)	S. 53
		2-52-5(L)	53
10	山野 和則	2-50-0(S)	57
		2-50-1(L)	57

● 400m 個人メドレー

1	東 圭紀	5-06-1(L)	S. 63
2	当麻 尚正	5-13-4(L)	H. 2
3	浦野 敏明	5-20-3(L)	S. 59
4	古谷 拓裕	5-20-7(L)	63
5	山本 隆	5-25-9(S)	53
		5-43-6(L)	53
6	村田 功	5-34-6(S)	62
7	久保田勝己	5-38-4(S)	56
8	原田久富美	5-40-1(S)	60
9	坂田 純孝	5-40-7(L)	57
	三好 岳	5-40-7(L)	60

● 400m メドレーリレー

1	小笠原、林、小南、東	4-19-29	H. 1
2	小笠原、林、小南、東	4-20-6	S. 63
3	小笠原、後呂、郡、浜田	4-21-1	61
4	徳永、後呂、郡、川原田	4-21-6	60
5	小笠原、後呂、郡、奥村	4-22-1	62

● 400m リレー

1	中畑、木村、東、井上(聡)	3-55-51	H. 2
	中畑、井上(聡)、木村、東	3-56-3	2
2	川原田、浜田、原田、後呂	3-56-4	S. 60
3	川原田、吉田、浜田、後呂	3-57-0	59
4	東、奥村、井上、小南	3-57-1	63
	(聡) 川原田、浜田、島崎、後呂	3-57-1	60
5	奥村、郡、東、後呂	3-57-4	62

● 800m リレー

1	当麻、小南、井上(聡)、東	8-47-71	H. 2
	当麻、井上(聡)、小南、東	8-47-86	2
	当麻、藤本(博)、井上(聡)、東	8-49-9	2
2	東、古谷、当麻、小南	8-52-9	S. 63
3	井上(聡)、東、藤本(博)、当麻	8-53-3	H. 1
	小南、東、井上(聡)、当麻	8-53-5	1
	東、古谷、当麻、井上(聡)	8-53-5	S. 63
	当麻、井上(聡)、東、藤本(博)	8-53-9	H. 1
4	浦野、坂田、後呂、川原田	8-56-5	S. 59
5	後呂、郡、古谷、東	8-56-7	62

〈女子〉

● 100m 自由形

1	川上 景子	1-07-9(L)	S.61
2	村上 美和	1-10-7(L)	60
3	坂東 美枝	1-11-7(S)	56
4	宮下 静子	1-12-3(S)	H. 1
5	木村 典子	1-12-9(L)	S.59

● 200m バタフライ

1	坂東 美枝	2-44-7(L)	S.57
2	川上 景子	3-00-7(S)	60
3	大野 智恵	3-26-9	
4	嶋田 陽子	3-32-4(L)	55
5	寛 明子	3-43-3(L)	H. 2

● 200m 自由形

1	川上 景子	2-26-4(L)	S.62
2	坂東 美枝	2-32-6(S)	56
3	山口 敦与	2-37-4(L)	60
4	土井 紀子	2-41-5(S)	
5	木村 典子	2-44-2(L)	59

● 100m 背泳

1	村上 美和	1-16-8(L)	S.61
2	坂東 美枝	1-21-7(S)	58
3	寛 明子	1-23-8(L)	H. 2
4	加地 恵	1-24-7(L)	S.61
5	石本日 AND 子	1-25-5(S)	55

● 400m 自由形

1	川上 景子	5-15-2(L)	S.60
2	坂東 美枝	5-18-5(S)	56
3	山口 敦与	5-28-7(L)	60
4	土井 紀子	5-45-0(S)	
5	桑本 万里	5-54-3	

● 200m 背泳

1	村上 美和	2-48-4(L)	S.63
2	坂東 美枝	2-58-6(S)	56
3	寛 明子	2-59-3(L)	H. 2
4	加地 恵	3-04-8(L)	S.61
5	石本日 AND 子	3-10-6(S)	

● 100m バタフライ

1	坂東 美枝	1-14-3(S)	S.57
2	川上 景子	1-20-9(L)	60
3	宮下 静子	1-21-8(S)	H. 1
4	大野 智恵	1-25-6(S)	S.52
5	石本日 AND 子	1-26-6(S)	55

● 100m 平泳

1	宮下 静子	1-27-5(L)	S.63
2	松井 玲子	1-30-2	
3	川島えみこ	1-32-0(S)	56
4	国本 温代	1-33-1(S)	
5	坂東 美枝	1-33-8(S)	56

● 200m 平泳

1	川上 景子	3-06-2(S)	S.61
		3-10-2(L)	60
2	宮下 静子	3-12-6(L)	63
3	川島えみこ	3-16-6	58
4	坂東 美枝	3-17-6(S)	
5	松井 玲子	3-20-3	52

● 400m 個人メドレー

1	川上 景子	5-53-0(L)	S.62
2	坂東 美枝	6-04-0(S)	56
3	村上 美和	6-35-2(S)	61
4	石本日和子	6-52-5(L)	
5	嶋田 陽子	7-00-9(L)	55

● 200m 個人メドレー

1	川上 景子	2-45-5(L)	S.60
2	坂東 美枝	2-54-5(L)	56
3	村上 美和	2-54-8(L)	61
4	宮下 静子	2-55-2(S)	63
		3-02-6(L)	63
5	石本日和子	3-07-5	

● 400m メドレーリレー

1	村上、宮下、川上、枝澤	5-23-1	S.63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-26-9	63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-27-2	63
	村上、宮下、川上、枝澤	5-27-5	63
2	村上、山口、川上、木村	5-31-1	60
3	加地、三住、坂東、木村	5-35-6	59
4	村上、林、川上、加地	5-37-7	61
	村上、三住、川上、山口	5-38-8	60
	村上、宮下、川上、枝澤	5-39-4	63
5	石本、国本、坂東、木村	5-40-0	57

● 200m リレー

1	木村、山口、村上、川上	2-08-3	S. 60
2	宮下、枝澤、村上、川上	2-08-6	63
	宮下、枝澤、村上、川上	2-09-1	63
3	川上、村上、加地、林	2-09-8	61
	宮下、枝澤、村上、川上	2-10-0	63
	加地、山口、村上、川上	2-10-6	60
4	村上、川上、加地、枝澤	2-11-8	62
	村上、山口、枝澤、川上	2-11-9	62
	川上、村上、林、山口	2-13-4	60
5	井上(優)、北岡、宮下、枝澤	2-13-5	H. 1

● 400m リレー

1	川上、村上、山口、木村	4-45-1	S. 60
2	川上、村上、加地、林	4-50-1	61
	村上、加地、山口、川上	4-51-8	60
3	宮下、枝澤、村上、川上	4-53-1	63
	宮下、枝澤、村上、川上	4-53-4	63
	宮下、枝澤、村上、川上	4-58-0	63
4	村上、川上、加地、枝澤	4-59-9	62
	林、加地、村上、川上	5-01-6	60
	宮下、枝澤、村上、川上	5-02-5	63
	川上、村上、加地、枝澤	5-03-7	62
5	井上(優)、寛、宮下、枝澤	5-03-9	H. 1

凌 泳 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 (名 称) 本会は凌泳会と称する。
- 第 2 条 (事 務 局) 本会は事務局を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課気付「凌泳会」とする。
- 第 3 条 (目 的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。
- 第 4 条 (事 業) 本会は前条の目的を達成する為に下記の事業を行なう。
1. 会誌「凌泳」の発行
 2. 会員相互の連絡
 3. 定例総会及び各種の親睦会合
 4. 神戸大学水泳部発展の為に指導及び援助
 5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項
- 第 5 条 (会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第 2 章 会 員

- 第 6 条 (会 員) 本会の会員を分けて正会員、特別会員、準会員及び在学会員とする。
- 第 7 条 (正 会 員) 正会員とは、次のものを云う。
- 国立神戸高等商業学校、国立神戸商業大学、神戸経済大学、同附属経営学専門部、神戸大学 以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。
- 第 8 条 (特 別 会 員) 特別会員とは、次のものを云う。
1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者、及び現在ある者
 2. その他、総会の決議によって推薦した者
- 第 9 条 (準 会 員) 準会員とは、前 2 条に該当する者以外の者で神戸大学水泳部と行動を共にし、その活動に協力した者の内、本人が入会を希望し、且つ在学会員より推薦のあった者を云う。
- 第 10 条 (在 学 会 員) 在学会員とは、次のものを云う。
- 現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者
- 第 11 条 (会 費) 1. 正会員は、会費として年額 8,000 円を当会へ納入する。但し、卒業後 44 年を経過した者は会費を免除する。

2. 準会員は、会費として正会員の半額を当会へ納入する。
3. 会員相互間で結婚した場合は、夫婦で年額 8,000 円を当会へ納入する。

第 3 章 役 員

第 12 条 (役 員) 本会に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	2 名
監 事	若干名
幹 事 長	1 名
本部 幹事	若干名
支部 幹事	若干名
運営委員	若干名

第 13 条 (改 選) 役員の変更は、総会の決議によって行なう。

第 14 条 (任 期) 役員の任期は 1 年とし、再選を妨げない。

第 15 条 (会 長) 会長は本会を代表し、且つ統轄する。

第 16 条 (副 会 長) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

第 17 条 (監 事) 監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第 18 条 (幹事長及び本部幹事) 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し、総括的会務の執行に当たる。

第 19 条 (支 部 幹 事) 支部幹事は、各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第 20 条 (運 営 委 員) 運営委員は会の円滑な運営を行う為に会費の徴収の促進をはかる。

第 4 章 総 会

第 21 条 (招 集) 総会は、少なくとも 2 週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以って会長がこれを招集する。

第 22 条 (時 期) 総会は、毎年 5 月に開催するものとし、臨時総会は、必要に応じて招集する。

第 23 条 (議 長) 総会の議長は、会長がこれに当たる。

第 24 条 (議 決) 総会の決議は、出席正会員の過半数を以って決する。但し、当該議事につき書面を以ってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

第5章 会 計

- 第25条（経 理） 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。
- 第26条（決 算） 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告し、その承認を受ける。
- 第27条（期 間） 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第6章 凌泳の送付

- 第28条 本会で会費を3年間滞納した者には「凌泳」の送付を停止する。但し、特別の事情がある者（海外駐在員等）は除くものとする。

第7章 雑 則

- 第29条 本会則は、昭和61年5月29日より発効する。

付記（退会者の取扱について）

昭和57年度総会において下記のとおり決定した。

文書その他の方法で退会の意思を表明した者は退会を認めることとし、その事実を明確にする為、名簿の最後に退会者欄をもうける。

凌泳会役員名簿

会 長	小 山 賢之助(昭7学)	
副 会 長	吉 野 栄(昭15学)	山 口 宗 樹(昭16学)
監 事	伊 藤 英 二(昭13学)	三 宅 林(昭21学)
幹 事 長	岡 田 重 義(昭37営)	
幹 事	富 岡 道 雄(昭31営)	
	上 田 剛 弘(昭56営)	
会計担当幹事	山 本 隆(昭57経)	
凌泳編集幹事	石 井 義 章(昭27経)	
支 部 幹 事		
(関 東)	支部長	山 口 宗 樹(昭16学) 呉 竹 正 人(昭59法) 佐 敷 定 雄(昭49農) 鈴 木 正 弥(昭39経) 浦 野 敏 明(昭60営)
(中 部)	支部長	井 上 隆 史(昭37営)
(中 国)	支部長	大 内 義 仁(昭14学)
(四 国)	支部長	中 村 市 治(昭15学)
(九 州)	支部長	印 藤 勝 美(昭18学)
(関 西)	支部長	吉 野 栄(昭15学)
	京 都	柳 本 正 雄(昭37営)
	阪 神	橋 本 力(昭30工) 富 岡 道 雄(昭31営)
	姫 路	山 口 仁 郎(昭32営)
運 営 委 員		三 宅 林(昭21学) 石 井 義 章(昭27学) 富 岡 道 雄(昭31営) 岡 田 重 義(昭37営)

物 故 会 員

氏 名	卒業年次(回)	氏 名	卒業年次(回)
(特別会員)		田 川 亮 一	3 22
藤 井 正太郎	水泳部顧問	阪 本 豊 一	3 22
多 田 徳 雄	体育教官 //	作 田 耕 三	3 22
小 川 忠 蔵	教授 水泳部部長	白 井 儀 三	3 22
北 村 五 良 (大6高)	教授 //	東 光 武 三	4 23
古 林 喜 楽 (大14高)	教授 //	尾 上 長三郎	4 23
山 田 幸 男	教授 //	三 吉 吉 郎	6 25
田 口 寛 治	教授 水泳部副部長	川 西 武 雄	7 26
(正会員)		太 田 清	7 26
小笠原 房 穂	10 15	土 肥 駒次郎	昭 7高26
白 山 源三郎	10 15	鈴 木 栄三郎	7学 1
中 村 精 一	10 15	鍵 本 芳 次	8 2
天 野 俊 一	10 15	熊 野 利 夫	8 2
加 納 茂	11 16	小 西 熊 雄	9 3
野 田 曾 一	11 16	糸 川 義 男	10 4
国 本 幸 一	12 17	片 山 四 郎	11 5
樽 原 零 一	12 17	野 村 弘	11 5
山 村 馨	12 17	栄 口 昌 二	12 6
山 下 虎 蔵	13 18	村 上 秀 造	13 7
中 村 信 三	13 18	高 橋 徹	13 7
吉 岡 喜 一	13 18	富 岡 喜一郎	13 7
鈴 木 不鞆雄	14 19	岡 野 巖 (旧姓)土屋	13 7
繁 益 繁治郎	14 19	和 泉 真 弘	14 8
高 森 安 夫	14 19	松 本 勇	14 8
三 輪 嘉一郎	15 20	福 永 拓 造	14 8
高 田 寿 三	15 20	新 原 拓 郎	15 9
大 谷 親之輔 (旧姓)井関	昭 2 21	尾 原 芳 行	16 8
大 島 勝 利	2 21	部 坂 克 夫	16 10
中 村 毅	2 21	恩 地 正 伍	16 10
浅 野 猛 雄	3 22	鈴 木 啓 介	16 10

井上正平	16 11	伊藤一郎	21 16
柏木慶三	16 11	齊藤嘉一郎	21 16
稻垣 憲	16 11	鈴木富夫	25学20
山口八郎	17 12	衣川 昭	24専 1
池田勲治	18 13	中島 功	28経 1
熊野泰已	18 13	今井 彰	30法 3
前田礼之	19 14		

平成元年度 物故者 吉岡 喜一(平1・12・30) 三吉 吉郎、熊野 泰已(平1・11・11)

退会者

(本人の希望により退会された方です。氏名の次の数字は卒業年次・回生・退会年次を示す。)

吉田隆喜	昭16・学11・昭58
稲木俊男	昭17・学12・昭57
岩永威	昭23・学18・昭57
小平喜一郎	昭26・学21昭57
石尾嘉嗣	昭24・専1・昭57
渋谷俊昭	昭30・B3・平2
山口尚彦	昭40・T13・昭59
天野孝司	昭51・A24・昭57
松本克江	昭55・P28・昭61
松本幸恵 旧(友近)	昭58・準会員・昭61

商 神

1. 商神彩なす翹をあげて
靈杖遙に東を指せば
靈しき果実は雲間を漏りて
秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
淡河原の近きほとりに
かく伝わりし天のさとしも
人はさとらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし
靈果いかで地に朽つべき
豊栄のほる朝日のかげに
八州の外の潮風吹きて
いつしか催す気運に乗じ
わが学校ぞ世に生まれたる
眠る 商界夢さますべき
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰
連り亘る山ぶところに
数の若鷹はぐくまれ居て
静かにうかぶ雲の行きかい
朝妙なる琴のひびきは
敏馬の浜に松を吹く風
夕やさしき舞の姿は
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の
寄せてはかえす清き渚や
熱誠もゆる夏の盛りを
いたわる風の葺合の里
須磨や明石をかけて照るらん
月には物のあわれをぞ知る
冬は凍たる後に嵐
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は
偉人傑士を起たしむとかや
天の使命を胸に収めて
清き自然に抱かれながら
筋骨鍛え智徳を研く
切磋琢磨の三年の春秋
養い得たるうつ勃の意気
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金歌無欠の三千余年
かがやく光は剣の誉
心はおなじ大和男子の
我等は牙輪を執って起ちなん
日出ずる旗を高くかざして
日入らぬ国と手を携えて
目ざす平和の戦の場に
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時ぞとねぐら離れて
野に立出ずる蒼鷹幾羽
爪も研ぎぬ力も足りぬ
尋にも余るつばさを張れば
枝の百鳥皆おそれ伏す
扶揺万里の風を起して
おのが向々東に西に
雲に突き入る勢見るや

商 神

しょうしん あやなす つばさをあげて
 れいじょう はるかに ひがしをさせば
 くしきこのみは くもまをもりて
 あきつ— しまねに おつとぞ みえしと
 こ—ろは ところき くすいか おるみ
 などが わらのち かきほ とりに *rit*
 かくつ たわりしあめのさとしも
 ひとは さとらで いくとせかへぬ

宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

ま や ろ っ こ り に い だ か れ て
 み ど り の そ の に は な ふ り か へ る
 こ こ お か の ー べ の わ こ う ど ー が
 も ゆ る お も い を む ね に ひ ー め
 ま な ぶ や ゆ う ひ の と き を き し

一

摩耶六甲に抱かれて
 緑の園に花ふりかかる
 ここ丘の上の若人が
 燃ゆる思いを胸に秘め
 学ぶや雄飛の時を期し

二

ヒマラヤ杉を背に受けて
 茅渚の浦ゆ紀伊の山
 右手に四国よ淡路島
 左手にうかぶ金剛山
 大らかにぞ抱負わく

三

燃ゆる紅葉たそがれて
 宵聞せまる山路を踏めば
 真理に挑む若鷹が
 ネオンの海を見おろして
 いよ上決意をかたむ哉

四

身に沁みわたる峯おろし
 冬来りなば春近し
 巢立つ晴れの日時せまる
 翼ひろげて悠然と
 宇宙を股に羽ばたかん

栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 敷島富四雄

作曲 黒田 浩一

編曲 土橋 康宏

たて や たー て われらがえらばれ
しせんし ぼころのたかき ぼまれにかけ て た
だ めさす しょうりのかむり
ふる えいざ ふるーえ ちからのかぎり かがやかんえい
こうは うーね に われらーにー
こうべこうべこうべ われらがこうべだいがーく ゆけ

三

二

一

聞けや聞け
われらが選ばれし戦士
青春の若き血潮たぎらせ
相和するかちどきの歌
振るえいざ振るえ意気いや高く
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸 神戸
われらが 神戸大学

征けや征け
われらが選ばれし戦士
若人の大い誇を秘めて
胸深く制覇の誓
振るえいざ振るえ雄々しく強く
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸 神戸
われらが 神戸大学

起てや起て
われらが選ばれし戦士
母校の高き誓にかけて
ただ目指す勝利の栄冠
振るえいざ振るえ力の限り
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸 神戸
われらが 神戸大学

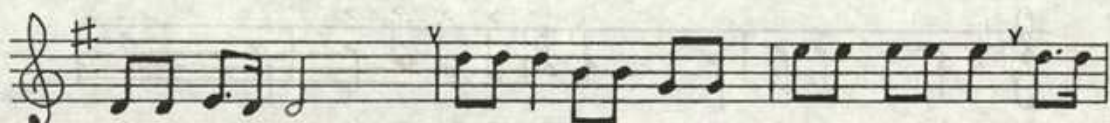
水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま や ろ っ こ り に い だ か れ て こ こ む こ が お か の
 2. フ リ ー ブ レ ス ト バ タ フ ラ イ バ ッ ク リ レ ー に
 3. あ あ な つ か し の す い え い ぶ ろ っ こ り だ い の -



み ず き よ し ち め の う ら わ を み お ろ し て し ぶ
 ボ ロ ま で も ぬ り え い け ん じ の い き た か し い ざ
 プ ー ル ベ に つ き み の え ん で - お よ き や め く る



き (し ぶ き) を あ げ る け ん だ ー ん じ
 や (い ざ や) - き そ わ ん う で を - ぶ し
 な (く る な) つ ま っ - て い き り - た つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し

茅渚の浦曲を見下して

しぶきをあげる健男子

二、フリーブレスト バタフライ

バックリレーにボロまでも

凌泳健児の意気高し

いざや競わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に

月見の宴で泳ぎ止め

来る夏待つていきり立つ

~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*  
編 集 後 記  
~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*~~~~~\*

若葉の緑もすがすがしい頃となり、今年もまた皆様の御手元に「凌泳」をお届けすることができました。OB諸兄には御寄稿いただき誠にありがとうございました。次号も多数の御寄稿、宜しく願いいたします。

OB諸兄と現役部員との「きずな」とも言える「凌泳」の編集にあたり、初めはその責任の重さにとまどうばかりでしたが、御寄稿下さった皆様の水泳、そして神大水泳部に対する想いに触れ、また多数の方々に励ましをいただいたおかげで、ようやく完成のはこびとなりました。

尚、御気付の点や御意見がございましたら、水泳部まで御連絡下さい。特に勤務先変更、住所変更の際には御連絡下さいますよう宜しくお願いします。

最後になりましたが、多大の御尽力を賜りました石井凌泳幹事並びに御投稿下さいましたOB諸兄に感謝いたします。

凌泳編集責任者 中山祥子

原 稿 募 集

「凌泳」誌は会員相互の連絡と親睦を図り、併せて現役部員とOBとの連繫を強化するための機関誌です。本誌をより楽しい物にするため多数の方々の御投稿をお願い致します。

原稿は400字詰め原稿用紙に横書きで5枚(2,000字)以内を原則とします。ワープロの場合は横書き一行40字に願います。

特に人名や固有名詞は正確、明瞭にお書き下さい。卒業年を付記する場合は、(昭19学)(昭24専)(昭30営)等の形に願います。新制学部の略記は、経、営、法、文、理、工、農、教、医とします。

原稿締切は毎年2月末日、発行は5月中旬です。

原稿の送り先は、神戸大学水泳部、または凌泳編集幹事宛てに願います。

以 上
(凌泳会編集幹事)

THE HISTORY OF THE
CITY OF BOSTON

FROM THE FIRST SETTLEMENT IN 1630
TO THE PRESENT TIME
BY
JOHN B. HENNING

THE HISTORY OF THE
CITY OF BOSTON
FROM THE FIRST SETTLEMENT IN 1630
TO THE PRESENT TIME
BY
JOHN B. HENNING